

取扱説明書

DLP®プロジェクター

LP-GU4001J

(形名：LP-GU4001)

【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節を行うメニューなどについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



設定・調節	2 - 3
メニュー機能の使いかた	2 - 3
簡単メニュー	2 - 5
映像メニュー	2 - 6
表示メニュー	2 - 10
入力メニュー	2 - 12
設置メニュー	2 - 16
オーディオメニュー	2 - 20
スクリーンメニュー	2 - 21
その他メニュー	2 - 26
ネットワークメニュー	2 - 38
セキュリティメニュー	2 - 39
仕様	2 - 45
2画面表示	2 - 46
簡易スタック	2 - 49
はじめに	2 - 49
準備	2 - 51
設置	2 - 51
スタックメニュー設定	2 - 59
ケーブルを接続する	2 - 64
メニューを使って入力端子の設定をする	2 - 66
スケジュール機能の制限について	2 - 70
故障かなと思ったら	2 - 71

お知らせ

- 説明書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 説明書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

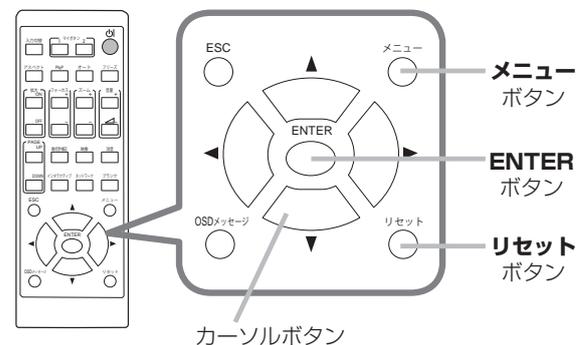
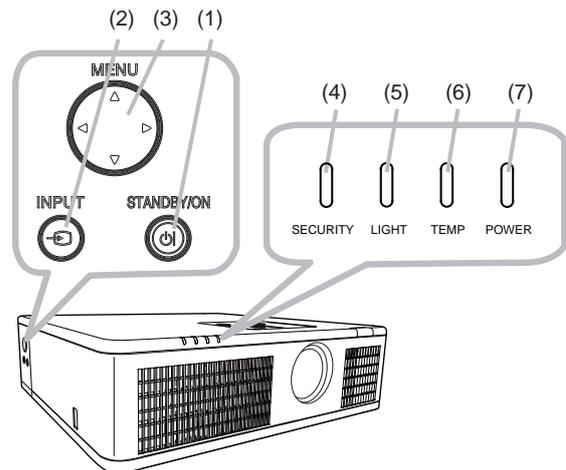
設定・調節

メニュー機能の使いかた

本機には、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「ネットワーク」「セキュリティ」「簡単メニュー」のメニューがあります。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、その他のメニューに関しては「詳細メニュー」があります。どのメニューも基本操作は同様です。メニュー表示中に操作パネルの **MENU** ボタン (カーソルボタン▲/▼/◀/▶) は、カーソルボタンとしてご使用いただけます。下記をご参考に操作してください。

- (1) **STANDBY/ON** ボタン (④1-30, 31)
点灯/消灯 (スタンバイ) を切り替えます。
- (2) **INPUT** ボタン (④1-32)
映像信号を切り替えます。
- (3) **MENU** ボタン (④2-3)
(カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶)
メニュー画面を表示します。(メニューを操作します。)
- (4) **SECURITY** インジケータ (④4-44)
セキュリティ機能の設定状態についてお知らせします。
- (5) **LIGHT** インジケータ (④4-42, 43, 44)
本機の光源の状態についてお知らせします。
- (6) **TEMP** インジケータ (④4-42, 43, 44)
本機内部の温度状態についてお知らせします。
- (7) **POWER** インジケータ (④4-41 ~ 44)
電源の状態をお知らせします。



1. はじめに、操作パネルの **MENU** ボタンまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていた方のメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。

2. 簡単メニューの操作

- (1) カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
- (2) カーソルボタン◀/▶で、選択した項目を設定、調節および実行することができます。

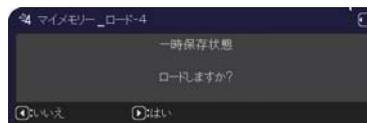
詳細メニューの操作

- (1) カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。メニューの項目が右側に表示されます。
- (2) カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲/▼で選択してください。カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。
- (3) 画面表示に従って操作してください。

メニュー機能の使い方 (つづき)

3. メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンの**メニュー**ボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀または**ENTER**ボタンを押します。また、何も操作しない状態が約30秒間続くと、自動的に終了します。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



表示	動作
終了	メニュー操作を終了します。 メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

お知らせ

- 受信信号によっては、実行できない機能があります。
- メニューの操作にどのボタンを使用するかは、メニューおよびダイアログの右上または底部、カーソル表示の左右などにも表示されますので、操作の際にご参照ください。
- 操作中の項目を元に戻したいときには、**リセット**ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（「表示言語」、「音量」など）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀を押してください。

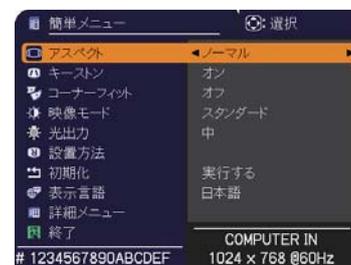
各メニューの項目

各メニューの項目は、以下となります。

設定項目	項目
簡単メニュー	アスペクト、キーストン、コーナーフィット、映像モード、光出力、設置方法、初期化、表示言語、詳細メニュー、終了
映像メニュー	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色あい、画質、ピクチャークオリティ、マイメモリー
表示メニュー	アスペクト、オーバースキャン、垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズ、オートアジャスト実行
入力メニュー	プログレッシブ、VIDEO NR、色空間、ビデオフォーマット、デジタルフォーマット、デジタルレンジ、COMPUTER-イン、フレームロック、解像度、PbyP/PinP 設定、MHL スタンバイ給電
設置メニュー	幾何学補正、光源、イメージオプティマイザ、画像表示位置、設置方法、スタンバイモード、OSD メッセージ、HDMI 出力、スタンバイ出力
オーディオメニュー	音量、スピーカー、音声入力設定
スクリーンメニュー	表示言語、メニュー位置、ブランク、オートブランク、初期画面、マイスクリーン、マイスクリーンロック、入力チャンネル名、テンプレート、C.C.
その他メニュー	チャンネルスキップ、オートサーチ、ダイレクトパワーオン、オートパワーオフ、マイボタン、スケジュール、特別な設定
ネットワークメニュー	ネットワークインフォメーション、無線ネットワーク、ネットワーク設定、マイ イメージ、外部機器接続、その他操作
セキュリティメニュー	セキュリティパスワード変更、マイスクリーンパスワード、暗証コードロック、状態監視、マイテキストパスワード、マイテキスト表示、マイテキスト入力、セキュリティインジケータ、スタックロック

簡単メニュー

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。
カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容																																																	
アスペクト (画面の縦横比)	カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。 詳細は、「表示」メニューの「アスペクト」(☞2-10)をご参照ください。																																																	
キーストン	カーソルボタン▶を押すと、調節できます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「キーストン」(☞1-37)をご参照ください。																																																	
コーナーフィット	カーソルボタン▶を押すと、「コーナーフィット」ダイアログを表示します。詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(☞1-37)をご参照ください。																																																	
映像モード	<p>カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモード、色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">スタンダード</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td style="text-align: center;">ナチュラル</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td style="text-align: center;">シネマ</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td style="text-align: center;">ダイナミック</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⇕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⇕</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ユーザー-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">黒板(黒)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⇕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⇕</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ユーザー-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">黒板(緑)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⇕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⇕</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ユーザー-1</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td style="text-align: center;">DICOM SIM.</td> <td style="text-align: center;">⇔</td> <td style="text-align: center;">ホワイトボード</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モードの詳細は(☞2-7)を参照してください。 ●映像モードを選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●「DICOM SIM.」は、本機における、DICOM® (Digital Imaging and Communication in Medicine) 近似表示モードです。このモードは DICOM 規格での規定に近似して表示します。本機は医療用機器ではなく、また、DICOM 規格に準拠しておりませんので、実際の診断などの医療行為にはご利用頂けません。</p>	スタンダード	⇔	ナチュラル	⇔	シネマ	⇔	ダイナミック	⇕						⇕	ユーザー-3						黒板(黒)	⇕						⇕	ユーザー-2						黒板(緑)	⇕						⇕	ユーザー-1	⇔	DICOM SIM.	⇔	ホワイトボード		
スタンダード	⇔	ナチュラル	⇔	シネマ	⇔	ダイナミック																																												
⇕						⇕																																												
ユーザー-3						黒板(黒)																																												
⇕						⇕																																												
ユーザー-2						黒板(緑)																																												
⇕						⇕																																												
ユーザー-1	⇔	DICOM SIM.	⇔	ホワイトボード																																														
光出力	カーソルボタン◀/▶を使用します。 詳細は、「設置」メニューの「光出力」(☞2-16)をご参照ください。																																																	
設置方法	カーソルボタン▶で、「設置方法」ダイアログが表示されます。 詳細は、「設置」メニューの「設置方法」(☞2-17)をご参照ください。																																																	
初期化	<p>「表示言語」を除く「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。</p> <p style="text-align: center;">初期化しない → OK</p> <p>初期化を実行するときは、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。 ●「表示言語」は初期化されません。</p>																																																	
表示言語	カーソルボタン◀/▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 詳細は、「スクリーン」メニューの「表示言語」(☞2-21)をご参照ください。																																																	
詳細メニュー	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」(「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「ネットワーク」、「セキュリティ」メニュー)に切り替えられます。																																																	
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。																																																	

映像メニュー

「映像」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。

下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 暗く ↔ 明るく
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 弱く ↔ 強く
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 淡く ↔ 濃く
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。 赤っぽく ↔ 緑っぽく
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 やわらかく ↔ くっきり ●調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>ピクチャー クオリティ (つづき)</p>	<p>ガンマ (つづき) カスタムモード (“カスタム” のつくモード) を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>
	<p>色温度 本機能は、ユーザー -1/-2/-3 が選択されていることで調節可能です。 カーソルボタン▲ / ▼で色温度モードを切り替えます。</p> <p style="text-align: center;"> 高 ⇄ カスタム -1 ⇄ 中 -1 ⇄ カスタム -2 ⇄ 中 -2 ⇄ カスタム -3 ⇄ 低 ⇅ カスタム -6カスタム -4 ⇅ ハイブライト -2⇄ カスタム -5⇄ ハイブライト -1 </p> <p>カスタムモード (“カスタム” のつく各モード) を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。 カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。 ●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>
	<p>ACCENTUALIZER 本機能は、読みやすさを向上させるための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調節します。</p> <p style="text-align: center;">弱く ↔ 強く</p> <p>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。 ●イメージオプティマイザ (☑2-17) が有効に設定されている場合、本機能が正しく動作しないことがあります。</p>
	<p>HDCR 明るい部屋でよりはっきりとした映像にするための機能です。 カーソルボタン◀ / ▶で調節します。</p> <p>●イメージオプティマイザ (☑2-17) が有効に設定されている場合、本機能が正しく動作しないことがあります。</p>
	<p>カラーマネージメント 赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの各色に対して色相、彩度、輝度を個別に調節します。</p>

(次ページにつづく)

表示メニュー

「表示」メニューでは、表示画面に関する下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲/▼で、アスペクト（画面の縦横比）を選択できます。</p> <p>■コンピュータ信号を表示しているとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ ズーム ↔ リアル</p> <p>■HDMI[®]、HDBaseT[™]、MHL 信号を表示しているとき ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔ ズーム ↔ リアル</p> <p>■ビデオ信号を表示しているとき 4:3 ↔ 16:9 ↔ 16:10 ↔ 14:9 ↔ ズーム ↔ リアル</p> <p>■LAN 端子からの信号を表示しているとき、または信号の入力がないとき 16:10 (固定)</p> <p>お知らせ</p> <p>●「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。</p>
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀/▶で、オーバースキャン（表示率）を調節できます。</p> <p>小さく（画像は大きくなります） ↔ 大きく（画像は小さくなります）</p> <p>●ビデオ信号を受信しているときのみ調節できます。</p> <p>●HDMI[®]、HDBaseT[™]、MHL 信号受信時は、以下の（1）または（2）の条件を満たす際に調節可能です。</p> <p>(1)「入力」メニューの「デジタルフォーマット」(2-13)を「VIDEO」に設定している場合。</p> <p>(2)「入力」メニューの「デジタルフォーマット」(2-13)を「オート」に設定している場合。</p> <p>ただし、本機がフォーマットを「VIDEO」と認識した場合。</p>

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
垂直位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。</p> <p>下へ ↔ 上へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かすすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(☑2-10)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。 ●LAN 端子、HDMI 1 / MHL 端子、HDMI 2 端子、HDBaseT 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。</p> <p>右へ ↔ 左へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(☑2-10)の設定に依存します。「オーバースキャン」が10に設定されている場合は、調節できません。 ●LAN 端子、HDMI 1 / MHL 端子、HDMI 2 端子、HDBaseT 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。</p> <p>右へ ↔ 左へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 端子、HDMI 1 / MHL 端子、HDMI 2 端子、HDBaseT 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。</p> <p>小さく ↔ 大きく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 端子、HDMI 1 / MHL 端子、HDMI 2 端子、HDBaseT 端子からの映像信号を受信しているときは調節できません。 ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して初期設定に戻してください。 ●調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。
オートアジャスト実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(☑2-11)、「水平位置」(☑2-11)、「クロック位相」(☑2-11)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☑2-12)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動調整には10秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」(☑2-31)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

入力メニュー (つづき)

応用編

設定項目	操作内容
<p>フレームロック</p>	<p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。各端子から入力される映像信号のフレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p>  <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。 2) カーソルボタン◀ / ▶で、フレームロック機能の有効 / 無効を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>●この機能は、垂直周波数が49～51、59～61Hzの信号を受信しているときのみ有効です。</p>
<p>解像度</p>	<p>COMPUTER IN 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>(1) 「入力」メニューから「解像度」をカーソルボタン▲ / ▼で選択し、カーソルボタン▶を押します。「解像度」メニューが表示されます。</p> <p>(2) メニューから選択します。 「オート」は、入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>(3) 「標準」選択の場合は、設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。 入力_インフォメーションダイアログが表示されます。</p> <p>(4) 「カスタム」選択の場合は、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。本機能は、全ての解像度をサポートしていません。</p> <p>(5) 入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。「解像度設定を変更しますか?」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。 入力_インフォメーションダイアログが表示されます。</p> <p>(6) 設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p>  <p style="text-align: center;">標準 ↓</p>  <p style="text-align: center;">カスタム ↓</p>  

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
PbyP/PinP 設定	<p>PinP 位置 リモコンのカーソルボタン▲/▼で PinP 位置モードにて、サブエリアの位置を切り替えます。</p> <p>PbyP/PinP フレームロック PbyP または PinP 使用時に、フレームロック機能を適用する画面を選択します。 左 / 親画面：PbyP 画面の左側、または PinP の親画面にフレームロックを適用します。 右 / 子画面：PbyP 画面の右側、または PinP の子画面にフレームロックを適用します。</p>
MHL スタンバイ給電	<p>カーソルボタン▲/▼で、MHL スタンバイ給電の有効 / 無効を切り替えます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スタンバイモードが「省電力」または「ネットワーク (WOL)」の時はメニュー操作不可、スタンバイ時は MHL 給電されません。 ●MHL スタンバイ給電を有効に設定した場合、スタンバイ状態でファンの回転音が発生することがありますが故障ではありません。

設置メニュー

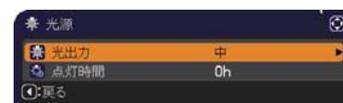
「設置」メニューでは、設置状態に関する下表の項目を操作することができます。

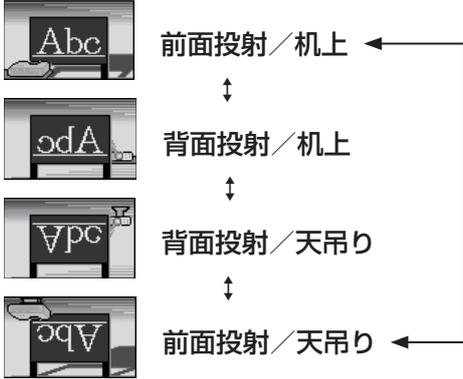
カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
幾何学補正	<p>キーストン</p> <p>本項目を選択すると、「キーストン」ダイアログが表示されます。 詳細は「画面のひずみを補正する」の「キーストン」(P.1-37)をご参照ください。 ●できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に調節してお使いください。ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に調節されていると、過補正となることがあります。 ●水平レンズシフトが真ん中に調節されていないと、正しく補正できないことがあります。 ●本項目は、「コーナーフिट」もしくは「ワーピング」と同時に設定することはできません。</p>
	<p>コーナーフिट</p> <p>本項目を選択すると、「コーナーフिट」ダイアログが表示されます。 詳細は、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフिट」(P.1-37)をご参照ください。 ●本項目は、「キーストン」もしくは「ワーピング」と同時に設定することはできません。</p>
	<p>ワーピング</p> <p>本項目を選択すると、「ワーピング」ダイアログが表示されます。 詳細はアプリケーションマニュアルをご参照ください。 ●本項目は、「キーストン」もしくは「コーナーフिट」と同時に設定することはできません。</p>
	<p>エッジブレンディング</p> <p>本項目を選択すると、「エッジブレンディング」ダイアログが表示されます。 詳細は「エッジブレンディング機能を使用する」(P.1-39, 40)をご参照ください。</p>
	<p>パターン</p> <p>カーソルボタン▲/▼でパターンを選択します。 カーソルボタン◀/▶でパターン [Off/1/2/3/4/5/6] を切り替えます。 パターン 1: フレーム パターン 2: 格子 (赤) パターン 3: 格子 (緑) パターン 4: 格子 (青) パターン 5: 垂直 9 ステップ パターン 6: 水平 9 ステップ OFF : 入力信号を表示します。</p>
	<p>本項目を選択すると、「光源」メニューが表示されます。 カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。</p>
光源	<p>光出力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高：高い輝度が必要な場合 ・中：標準的な明るさとなります ・低：外光の影響を受けにくい環境でおすすです ・コンスタント：長期間輝度を一定に保ちます
	<p>点灯時間</p> <p>現在までの光源の点灯時間を 1 時間単位で表示します。</p>



設定項目	操作内容
<p>イメージ オブティマイザ</p>	<p>本機能を有効にすると、光源の消耗に合わせて自動的に画像補正を行い、視認性を維持します。 ● HDCR、ACCENTUALIZER が 0 以外の場合には、正しく動作しないことがあります。</p>
<p>画像表示位置</p>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、画像の表示位置を選択できます。 本機能は以下のときには動作しません。 ●画面の中に映像非表示エリア（黒画面 / 背景画面）が無い、もしくは表示されないとき。 ●以下のいずれかのメッセージが表示されているとき。 「信号が入力されていません」 「信号が同期範囲外です」 「入力信号が不安定です」 ●ブランク画面、またはテンプレート画面が表示されているとき。</p>
<p>設置方法</p>	<p>カーソルボタン▶を押すと、設置方法を選択するダイアログが表示されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>▲/▼で、画面の設置方法モードを選択し、ENTER ボタン(または  ボタン)を押してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「セキュリティ」メニューの「状態監視」( 2-42) を「有効」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を完全に切って ( 1-31) から再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。 ● 背面 / 天吊りまたは、前面 / 天吊りを選択した際、操作パネルのカーソルボタンの操作方向もダイアログを閉じたあとに反転されます。
<p>スタンバイモード</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、本機がスタンバイ状態であるときの消費電力モードを選択できます。</p> <p>高速起動：高速起動用（待機電力が上がります） 通常：スタンバイ時に各種通信機能を使用する場合 ネットワーク (WOL)：消費電力を抑えながら有線ネットワークの Wake on LAN(WOL) 機能を使用する場合 省電力：最も消費電力を抑えたい場合に使用します。スタンバイ時にネットワーク機能は動作しません。ネットワーク (WOL) または省電力を選択すると、消費電力を下げることができますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - パワーオン、スタンバイモードの切替以外の RS-232C コマンドの送受信ができなくなります。「その他」メニューの「特別な設定」- 「通信設定」- 「通信タイプ」( 2-34) が「ネットワークブリッジ」に設定されている場合は、全ての RS-232C コマンドが送受信できません。 - スタンバイ出力機能が使用できなくなります。 - HDMI 経由でのプロジェクター制御および HDBaseT™ 機能が使用できなくなります。 - スケジュール機能（例：電源-オン）は動作しなくなります。 - MHL スタンバイ給電機能は動作しなくなり、MHL 給電は行われません。 - 本機が起動してから利用可能になるまでに、しばらく時間がかかります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能は、スタックモードがオフの時のみ使用できます。( その他メニュー > 特別な設定 > 通信設定 > スタック) ● ネットワーク (WOL) に設定された時は、「その他」メニューの「特別な設定」- 「制御端子」の「有線ネットワーク」が LAN に固定されます。 ● 「その他」メニューの「特別な設定」- 「制御端子」の「有線ネットワーク」に HDBaseT が設定された時は、ネットワーク (WOL) を選択することができません。本機がスタンバイモード状態であるとき、ネットワーク (WOL) を選択すると、有線 LAN による Wake on LAN (WOL) のみ受け付けます。

Wake-On LAN(WOL)機能

設置メニューのスタンバイモード設定でネットワーク(WOL)を選択することで、スタンバイ状態での消費電力を抑えながら有線ネットワークのWake-On-LAN(WOL)機能を使うことができます。

動作

スタンバイ状態でWOLマジックパケットを受信すると、通常のスタンバイモード状態に遷移することで、各種通信機能が使用できるようになります。

但し、WOLマジックパケットを使用して通常のスタンバイモードに遷移しても、スタンバイ状態のまま10分以上経過すると自動で消費電力を抑えたネットワーク(WOL)のスタンバイモードに戻ります。

なお、WOLマジックパケット受信後、各種通信機能が動作可能となる時間の目安は、有線ネットワークで1分、無線ネットワークでは約2分となります。

WOLマジックパケット

項目	仕様
ネットワーク	有線ネットワークのみ
プロトコル	UDP
宛先アドレス	ブロードキャストアドレス
宛先ポート番号	任意
WOL マジックパケット	プロジェクターの有線 LAN 側の MAC アドレスを使ったパケット (FF:FF:FF:FF:FF:FF (6Byte) に続き、MAC Address (6Byte) を 16 回繰り返した 102Byte のデータ)

(例)MAC Address: 01:02:03:04:05:06の場合のWOLマジックパケット

```
FF:FF:FF:FF:FF:FF: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06:
01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06:
01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06:
01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06: 01:02:03:04:05:06:
01:02:03:04:05:06:
```

お知らせ

対応するWOLマジックパケットは、ブロードキャストアドレスに対して送信するパケットです。

一般的なルーターの初期設定では、異なるネットワークアドレスの機器に対してブロードキャストアドレスのパケットを転送しない場合があります。

このようなルーターをご使用の場合、同一のネットワークアドレスに存在しないプロジェクターに対しては、WOL機能を使うことができません。

ルーターの設定に関しましては、ネットワーク管理者にご相談ください。

本機能は有線ネットワークのみ有効であり、無線ネットワークには対応しておりません。

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは、音声に関する下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、オーディオ出力の音量を調節できます。 小さく (-側) ↔ 大きく (+側)
スピーカー	カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーの有効 / 無効を選択できます。 オン ↔ オフ 無効が選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。
音声入力設定	<p>(1) で選択した入力端子からの画像信号が表示されているあいだ、(2) で選択した入力端子からの音声信号が本機の内蔵スピーカーと AUDIO OUT 端子の両方から出力されます。ただし、スピーカーがオフに設定されている場合は内蔵スピーカーは動作しません。</p> <div data-bbox="651 846 1042 1077" data-label="Image"> </div> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、映像の入力端子を選択してください。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、音声入力端子または消音のアイコンを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HDMI 1 / MHL、HDMI 2、HDBaseT、LAN 端子からの音声は、各 (映像) 端子にのみ選択できます。 ● 消音「✖」を選択し、「スクリーン」メニューの「C.C.」 - 「ディスプレイ」に「オート」を選択している場合、C.C. を含む入力信号 (NTSC、480i) を受信した時、自動的に C.C. 機能が有効となります。 ● スタンバイ時の AUDIO OUT の設定については、「設置」メニューの「スタンバイ出力」の「AUDIO OUT」を参照してください。

スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは、スクリーン表示に関する下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



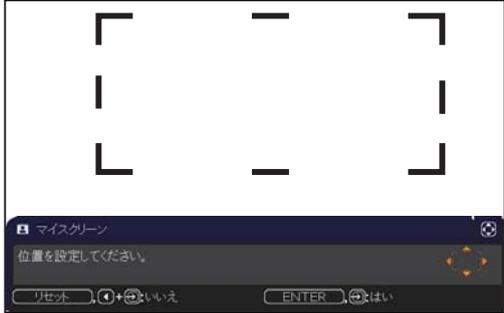
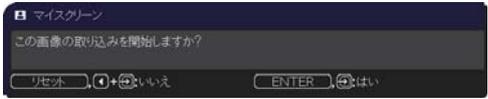
設定項目	操作内容
表示言語	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー等の画面表示言語を選択できます。</p> <p>ENGLISH ⇄ FRANÇAIS ⇄ DEUTSCH ⇄ ESPAÑOL ⤴ (表示言語ダイアログの表示) ⤵</p> <p>選択した表示言語を適用するには、ENTER ボタン (または ⏎ ボタン) を押してください。</p>
メニュー位置	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンのメニューボタンを押すか、約 10 秒間何も操作しないと終了します。</p>
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、ブランク画面を選択できます。</p> <p>「ブランク画面」は一時的に表示される画面です。リモコンのブランクボタンを押すことで表示されます。</p> <p>マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 青 ⇄ 白 ⇄ 黒</p> <p>↑ ↑ ↑ ↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-22)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。 ■ 「青、白、黒」: 各色の無地画面が表示されます。 ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
オートブランク	<p>カーソルボタン▲/▼で、オートブランク画面を選択できます。</p> <p>青 ⇄ 白 ⇄ 黒</p> <p>↑ ↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、以下の条件で「オートブランク」で指定のブランク画面色に数分後に画面が変わります。 <ul style="list-style-type: none"> – 「マイスクリーン」もしくは「オリジナル」がブランク画面として表示されたとき。 – 初期画面が表示されたとき。
初期画面	<p>カーソルボタン▲/▼で、初期画面を選択できます。</p> <p>「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない（入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わないなど）ときに投映される画面です。</p> <p>マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 表示しない</p> <p>↑ ↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-22)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準画面が表示されます。 ■ 「表示しない」: 黒の無地画面が表示されます。 ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「初期画面」は「オートブランク」画面へ数分後に切り替わります。 ● マイスクリンパスワード機能 (2-40) が有効に設定されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

(次ページにつづく)

スクリーンメニュー (つづき)

応用編

設定項目	操作内容
マイ スクリーン	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像 (マイスクリーン) を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>1) 「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。</p> <p>映像が静止し、登録する画像の位置を指定するための枠が表示されます。タイミングを間違えた、他の画面を登録したい、という場合は リセット ボタンを押してください。</p> <p>2) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で登録する画像の位置を調節してください。(受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。)</p> <p>位置調節が終わったら、ENTER ボタン (または  ボタン) を押して画像の取り込みを開始してください。</p> <p>画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合は リセット ボタンを押してください。</p> <p>画像の取り込みには数分ほどかかります。取り込みが完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。</p> <p>取り込みに失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「マイスクリーンロック」( 2-22) が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「マイスクリーンパスワード機能」( 2-40) が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●LAN 端子、HDMI 1 / MHL 端子、HDMI 2 端子、HDBaseT 端子からの映像信号は、マイスクリーンに登録できません。
マイスクリーン ロック	<p>カーソルボタン ▲ / ▼ で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「マイスクリーンパスワード機能」( 2-40) が有効に設定されているときは選択できません。



(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>入力 チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子にチャンネル名（アイコン、番号、名称）を割り当てることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲/▼で、「スクリーン」メニューの「入力チャンネル名」メニューを選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「入力チャンネル名」メニューが表示されます。 カーソルボタン▲/▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。カスタム入力チャンネル名ダイアログが表示されます。  <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、選択した端子に割り振りたいアイコンを選択し、ENTER ボタン（または  ボタン）を押してください。アイコンに応じた端子の名称が、右側の「プレビュー」に表示されます。カーソルボタン▲/▼で、選択した端子に割り振りたい番号を選択し、ENTER ボタン（または  ボタン）を押してください。 チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または  ボタン）を押します。 変更を保存しない場合は、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または  ボタン）を押します。 端子の名称を手動入力で変更したい場合は、「名称変更」を選択して ENTER ボタン（または  ボタン）を押してください。名称入力ダイアログが表示されます。   

(次ページにつづく)

応用編

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>6) 端子の名称を入力する 最初の行(下線付き)に現在の名称が表示されます。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER ボタン (または  ボタン) を押して入力してください。リセットボタンを押す、またはカーソルボタン◀と  ボタンを同時に押す、もしくは「消去」を選択して ENTER ボタン (または  ボタン) を押すと、1文字削除することができます。また、「全消去」を選択して ENTER ボタン (または  ボタン) を押すと、表示されている文字を全て削除することができます。端子の名称は最大 16 文字入力できます。</p> <p>7) 端子の名称を編集する カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、名称が表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン (または  ボタン) を押して選択します。選択した文字を、名称を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>8) 端子の名称を保存する 名称の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p style="text-align: center;">テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶または ENTER ボタン (または  ボタン) を押してください。カーソルボタン◀を押すと、表示画面からパターン選択画面に戻ります。テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てたマイボタン ( 2-24) を押すことによっても表示できます。表示されるのはマイボタンを押す直前に選択していたテンプレート画面となります。</p> <div style="text-align: center;"> <p>テストパターン ↔ 点線 1 ↔ 点線 2 ↔ 点線 3 ↔ 点線 4</p> <p>↓ ↑</p> <p>スタック ↔ 地図 2 ↔ 地図 1 ↔ 円 2 ↔ 円 1</p> </div> <p>「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中にリセットボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイダンスが表示されます。</p>

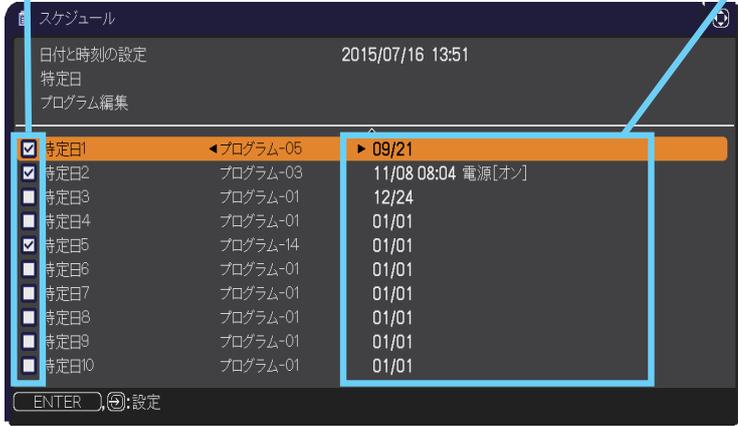
(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>オート パワーオフ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（光源を消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p>長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分：無効）</p> <p>例</p>  <p>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ● 手で電源を切る方法については「電源を切る」（☞1-31）をご参照ください。
<p>マイボタン</p>	<p>リモコンのマイボタンボタンに機能を割り当てることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲/▼で、設定するマイボタン（1 ～ 4）を選択し、カーソルボタン▶を押してマイボタンセットアップダイアログを表示します。 ただし、付属リモコンはマイボタン 1、2 のみ使用可能です。別売リモコンでは、マイボタン 1 ～ 4 が使用可能です。 カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、選択したボタンに割り当てる機能を選択し、ENTER ボタン（または  ボタン）を押してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイ イメージ」：マイ イメージメニューを表示します。 ■ 「メッセージ」：メッセージテキストを表示します。表示するデータがないときは、メッセージを表示します。 ■ 「PbyP/PinP 画面入れ換え」：2 画面表示モードで、左右の画面を入れ替えます。 ■ 「PinP 位置」：PinP 画面を切り替えます。 ■ 「インフォメーション」：ボタンを押すたびに、「システム_インフォメーション」ダイアログ、「入力_インフォメーション」ダイアログ（☞2-37）、「ネットワークインフォメーション」ダイアログ（☞3-16）を表示します。 ■ 「マイメモリー」：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。（☞2-9） <p>マイメモリーを設定したときのマイボタン動作 マイボタンを押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが表示されます。 設定データがメモリに保存されていれば、マイボタンを押すたびに、順次設定データ呼び出し、適用します。メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」ダイアログが表示されます。現在の設定を保持したい場合は、カーソルボタン▶で「EXIT」を選択します。データ呼び出した場合は、現在の設定が上書きされます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 「映像モード」：映像モードを変更します。（☞2-7） ■ 「テンプレート」：テンプレート画面を表示します。（☞2-24） ■ 「解像度」：画面の解像度の設定メニューを表示します。（☞2-14） ■ 「ACCENTUALIZER」：ACCENTUALIZER ダイアログを表示します。（☞2-8） ■ 「HDCR」：HDCR ダイアログを表示します。（☞2-8） ■ 「光出力」：光出力ダイアログを表示します。 ■ 「ブランク」：ブランク機能をオン/オフで切り替えます。 ■ 「消音」：音声をオン/オフで切り替えます。

（次ページにつづく）

設定項目	操作内容								
<p>スケジュール</p>	<p>本項目を設定することで、いくつかの機能を自動的に起動させることができます。</p> <p>■ 項目の設定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で選択および調整をします。 「OK」選択し、設定を終了します。 <p>お知らせ</p> <p>●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。</p> <table border="1" data-bbox="343 600 1461 860"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日付と時刻の設定</td> <td>プロジェクターに基準時刻を設定するために、現在の日付（年 / 月 / 日）および時間（24時間表記）を入力します。</td> </tr> <tr> <td>特定日</td> <td>特定の1日だけ実行させる場合に、日付（月 / 日）を指定します。特定日1から10まで10通り設定が可能です。</td> </tr> <tr> <td>プログラム編集</td> <td>1日のうちに何時に何（イベント）をさせるかを決める。1日は1プログラム。16プログラムまで設定可。イベントは1プログラム20個まで。</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 設定の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日付と時刻の設定で、基準となる現在の日付 / 時刻を確定させる。 ②プログラム編集で何時に何（イベント）をさせるか1日の流れをプログラムする。 ③スケジュールしたい日付を選択（特定の一日：特定日、もしくは曜日：毎週）し、プログラムを選択する。 曜日と特定日は上下スクロールで画面を切り替える（1 / 2ページ：曜日、2 / 2ページ：特定日）。 <p>■ 適用方法（日付と時刻の設定 / 特定日）</p> <p>チェックボックスにチェックを入れます。</p> <div data-bbox="501 1272 1461 1839" data-label="Image"> </div> <p>1 / 2 ページ（日付（年 / 月 / 日）および時間（24 時間表記）を設定します。）</p>	項目	内容	日付と時刻の設定	プロジェクターに基準時刻を設定するために、現在の日付（年 / 月 / 日）および時間（24時間表記）を入力します。	特定日	特定の1日だけ実行させる場合に、日付（月 / 日）を指定します。特定日1から10まで10通り設定が可能です。	プログラム編集	1日のうちに何時に何（イベント）をさせるかを決める。1日は1プログラム。16プログラムまで設定可。イベントは1プログラム20個まで。
	項目	内容							
日付と時刻の設定	プロジェクターに基準時刻を設定するために、現在の日付（年 / 月 / 日）および時間（24時間表記）を入力します。								
特定日	特定の1日だけ実行させる場合に、日付（月 / 日）を指定します。特定日1から10まで10通り設定が可能です。								
プログラム編集	1日のうちに何時に何（イベント）をさせるかを決める。1日は1プログラム。16プログラムまで設定可。イベントは1プログラム20個まで。								

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>スケジュール (つづき)</p>	<p>チェックボックスにチェックを入れます。</p> <p>チェックがある箇所の日付や最初の設定情報が表示されます。</p>  <p>2/2 ページ (特定日 1 から 10 を設定します。)</p> <p>“土曜日” を選択した状態でカーソルボタン▼を押すと 1/2 ページから 2/2 ページへ移動します。</p> <p>■ プログラム編集 プログラム 1 から 16 の時間とイベントの編集ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 戻る 「スケジュール」メニューに戻ります。 • 選択 プログラム - 01 から 16 を編集します。各プログラムはイベントを 20 まで設定が可能です。 • コピー 選択したプログラム（時間およびイベントを設定済）は、他のプログラムへコピーできます。 • 登録 調整および設定が全て登録されます。 

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>スケジュール (つづき)</p>	<p>■ 選択プログラムの編集方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イベントの1～20から選択します。 カーソルボタン▲/▼で選択します。 カーソルボタン▶で時間とイベントを設定します。 2. カーソルボタン◀/▶で選択します。 3. カーソルボタン▲/▼で調整します。 <p>「イベント」は、以下の中から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電源 – オン, スタンバイ ○ 入力ソース – "入力ソース"チャンネル ○ マイイメージ – マイイメージ-1 から 4, 表示オフ ○ メッセージャー – テキスト-1から 12, 表示オフ ○ 光出力 – 高, 中, 低, コンスタント ○ ブランク – オン, オフ <ol style="list-style-type: none"> 4. カーソルボタン▶で設定を終了します。 5. 「登録」を選択すると、設定の保存ができます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切な操作のために、実際の表示メニュー（OSD）に従って操作してください。 ●スタンバイモードが「省電力」または「ネットワーク（WOL）」設定となっている場合には、スタンバイ時のスケジュール機能（例：電源–オン）は動作しません。



(次ページにつづく)

応用編

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>キーロック 操作パネル、またはリモコンのボタン（キー）をロックすることができます。</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、ボタンをロックする方を選択します。</p> <p style="text-align: center;">コントロールパネル（操作パネル） ↔ リモコン</p> <p>2) カーソルボタン◀ / ▶でキーロック機能の全ボタン / 有効 / 無効を設定します。</p> <p style="text-align: center;">全ボタン ↔ 有効 ↔ 無効</p> <p>全ボタンを選択した時は、全てのキー操作が無効になります。「有効」を選ぶと、リモコンの  ボタン、および操作パネルの STANDBY/ON ボタン以外の各ボタンが無効になります。「無効」を選ぶとボタンのロックを解除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いたずらや誤操作を防止したい場合に、この機能をご使用ください。 ●操作パネルとリモコンの両方を「有効」（ロック）に設定することはできません。 ●全ボタンを選択した時は、暗証コード設定画面が表示されますので、暗証コードを設定してください。 <p>1. 暗証コード設定方法について</p> <p>1) カーソルボタン◀ / ▶で、「全ボタン」を選択すると、確認メッセージが表示されます。</p> <p>2) カーソルボタン▶を押すと「キーロック暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶と、INPUT ボタン または  ボタンで、4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。</p> <p>「暗証コードを入力してください」ダイアログ、または「暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されてから、約 55 秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●暗証コードを忘れないようにメモをとってください。 <p>2. 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>「全ボタン」設定からカーソルボタン▶を押すと、「キーロック暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。</p> <p>間違った暗証コードを 3 回入力すると、本機は消灯します。また、ダイアログが表示されてから約 5 分間以内に暗証コードを入力しないと、本機は消灯します。</p> <p>3. 暗証コードを忘れた場合</p> <p>1) 本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と INPUT アイコンボタンを同時に、3 秒間押ししてください。「暗証コードメニュー / 照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。</p> <p>2) 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「全ボタン」を解除するには光源点灯中に暗証コードを入力してください。暗証コード入力中は SECURITY インジケータが点滅します。



(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>リモコン受光部</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するリモコン受光部を選択します。 前面 ↔ 背面 ↔ HDBaseT</p>  <p>2) カーソルボタン◀ / ▶でリモコン受光部の有効 / 無効を切り替えてください。 有効 ↔ 無効</p> <p>● 前面と背面の両方の受光部を「無効」に設定することはできません。</p>
	<p>リモコン周波数</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、信号受信周波数モードを選択します。 1: 標準 ↔ 2: 高</p>  <p>2) カーソルボタン◀ / ▶で周波数モードの有効 / 無効を切り替えてください。 有効 ↔ 無効</p> <p>リモコンが正常に機能しない場合、「1: 標準」または「2: 高」だけを有効にしてみてください。「1: 標準」と「2: 高」の両方を無効にすることはできません。</p>
	<p>リモコン ID</p> <p>本項目を選択した状態でオプションリモコンのID1 ~ 4のボタンを押すと切替メニューが表示されます。</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、本機に設定するリモコン ID を選択してください。 全 ID ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4</p>  <p>2) 設定を保存するには、カーソルボタン▶を押してください。</p> <p>本機は、同じ ID 番号を設定したリモコンでしか操作できなくなります。「全 ID」を設定した場合は、どの ID を設定されたリモコンでも操作できます。</p> <p>● オプションリモコンのみ使用可能です。</p>

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p> <p>通信設定</p>	<p>シリアル設定 CONTROL 端子の通信状態を選択することができます。</p> <p>■ ボーレート 4800 bps ↔ 9600 bps ↔ 19200 bps ↔ 38400 bps</p> <p>↑ ↑ ↑ ↑</p> <p>■ パリティ なし ↔ 奇数 ↔ 偶数</p> <p>↑ ↑</p> <p>● 「通信タイプ」(☞2-34) が「オフ」に設定されているときは、ボーレートは「19200bps」、パリティは「なし」に固定されます。</p>
	<p>通信方式 この項目は、「通信タイプ」(☞2-34) で「ネットワークブリッジ」が選択されている時のみ設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、ネットワークブリッジでの、CONTROL 端子からの伝達用の通信方式を選んでください。</p> <p>半二重通信 ↔ 全二重通信</p> <p>■ 「半二重通信」: データの送信、受信を交互に行います。 ■ 「全二重通信」: データの送受信を同時に行います。</p> <p>お知らせ</p> <p>● 工場出荷時は、「半二重通信」に設定されています。 ● 「半二重通信」を選択する時ときは、「応答データ受信期間」(☞ 下記)をご確認ください。</p>
	<p>応答データ受信期間 カーソルボタン▲/▼で、外部機器からの応答待機時間を選択してください。</p> <p>オフ ↔ 1s ↔ 2s ↔ 3s</p> <p>↑ ↑ ↑</p> <p>■ 「オフ」: コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。 ■ 1s/2s/3s: データ送信先の外部機器からの応答待機時間を設定します。設定された時間は、CONTROL 端子からデータが送信されません。</p> <p>● 本メニューは、「通信タイプ」(☞2-34) が「ネットワークブリッジ」に設定され、さらに「通信方式」(☞2-35) が「半二重通信」に設定されている時のみ有効となります。 ● 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。</p>
	<p>スタック この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「スタック」メニューが表示されます。 「スタック」メニューでは、簡易スタック機能に関する設定を行うことができます。簡易スタック機能の詳細は、「簡易スタック」(☞2-49～71) をご参照ください。</p> <p>● 「スタックモード」が「メイン」または「サブ」に設定のときは、「通信設定」メニューで使用できなくなる項目があります。 ● 「スタックモード」が「メイン」または「サブ」に設定されている場合、「制御端子」の「RS-232C」(☞2-36) メニューは設定できません。RS-232C の設定は強制的に CONTROL に切り替えます。</p>

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
特別な設定 (つづき)	<p>有線ネットワーク LAN 端子と HDBaseT 端子のどちらを使用するか選択します。 LAN ↔ HDBaseT</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HDBaseT が設定された時は、「設置」メニューの「スタンバイモード」でネットワーク (WOL) を選択することができません。 ● 「設置」メニューの「スタンバイモード」がネットワーク (WOL) に設定された時は、LAN に固定されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークへの接続は、LAN 端子と HDBaseT 端子のどちらか一方しか使用できません。ご使用になる環境に合わせて切り替えを行ってください。
	<p>RS-232C CONTROL 端子と HDBaseT 端子のどちらを使用するか選択します。 CONTROL ↔ HDBaseT</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークへの接続は、CONTROL 端子と HDBaseT 端子のどちらか一方しか使用できません。ご使用になる環境に合わせて切り替えを行ってください。
	<p>REMOTE OUT REMOTE CONTROL OUT 端子を切り替えます。 1) カーソルボタン▲ / ▼で、切替モードを選択します。 REMOTE : 赤外線リモコン、有線リモコンの信号 ON/OFF を行います HDBaseT : HDBaseT からのリモコン信号の ON/OFF を行います。 2) カーソルボタン◀ / ▶で ON/OFF を切り替えてください。 ON ↔ OFF 複数のリモコンで同時に操作した場合には、本機または REMOTE OUT 接続先のプロジェクターが正しく動作しないことがあります。</p>
HDMI アウト 解像度	<p>HDMI 出力の解像度情報を参照する機器を選択します。 外部機器 ↔ プロジェクター</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「外部機器」を選択している場合、本機に入力される信号の解像度、および出力される信号の解像度は、接続したプロジェクター、またはモニターなどの最大解像度に制限される場合があります。 ● 「プロジェクター」を選択している場合、HDMI OUT に接続している機器の映像が正常に表示されない場合があります。

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>インフォメーション この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> ● "フレームロック" と表示されている場合は、フレームロック機能が動作していることを示します。 ● 正常な信号を受信していない状態では、この項目は選択できません。 ● 「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」(2-43)が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「点灯時間」、「表示言語」、「オートブランク」、「スタンバイモード」、「通信設定」、「ネットワーク」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。

ネットワークメニュー

ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

セキュリティメニュー

「セキュリティ」メニューでは、本機のセキュリティ機能の設定を行うことができます。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書は大切に保管してください。

「セキュリティ」メニューを操作するには、以下の手順に従い、セキュリティパスワードを入力してください。

1. 「パスワードを入力してください。」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時のセキュリティパスワードは以下です。

3087

セキュリティパスワードは変更できます。

カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが再度表示されます。

- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早く変更してください。
- 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。それ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。

3. 下記表の項目が操作できます。

■セキュリティパスワードを忘れた場合

1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と↻ボタンを同時に3秒間押しすると、「セキュリティ/照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、パスワードをご連絡いたします。
- 「セキュリティパスワード/照合コード」ダイアログが表示されているときに一定時間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。



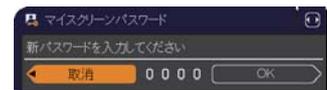
応用編

設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「セキュリティ」メニューで「セキュリティパスワード変更」を選択し、「新パスワードを入力してください」ダイアログを表示させます。 2) カーソルボタン▲ / ▼で新パスワードを入力してください。 3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。 4) カーソルを「OK」に移動して、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、新しいセキュリティパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約30秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間に新しいパスワードをメモしてください。ENTER ボタンまたはカーソルボタン▶を押すと、ダイアログが閉じます。 <p>●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。</p>

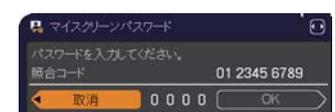
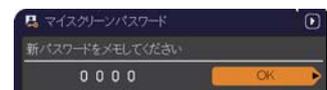
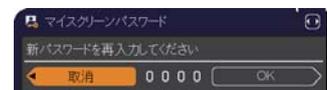
(次ページにつづく)

応用編

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能でマイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1. マイスクリンパスワード機能を有効にする (パスワードを設定・登録する)</p> <p>1-1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティメニュー」の「マイスクリーンパスワード」を選択し、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。</p> <p>1-2) カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3) カーソルボタン▲/▼/◀/▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-4) 同じパスワードを再度入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。</p> <p>●マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」(図2-22)、および「マイスクリーンロック」(図2-22)を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。「マイスクリーンパスワード」を「無効」にすることで、上記の操作ができるようになります。</p> <p>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。</p> <p>2. マイスクリンパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。</p> <p>2-2) メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大)ダイアログが表示されます。</p> <p>登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると、マイスクリーンパスワード機能は無効になり、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューに戻ります。間違ったパスワードを入力するとメニューが閉じます。</p> <p>3. マイスクリンパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。</p> <p>3-2) カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンパスワード 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」(大)ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3) 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口(家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p>

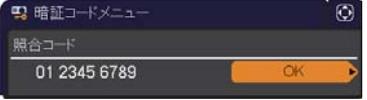


「新パスワードを入力してください」(小)



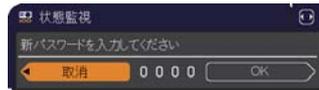
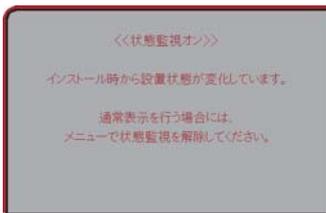
「マイスクリーンパスワードを入力してください」(大)

(次ページにつづく)

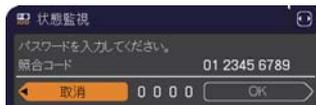
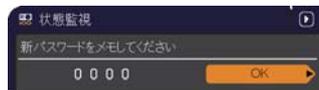
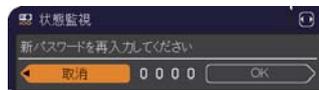
設定項目	操作内容
<p>暗証コード ロック</p>	<p>暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない限り、本機を使用できないようにする機能です。</p> <p>1. 暗証コードロック機能を有効にする (暗証コードを設定・登録する)</p> <p>1-1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティメニュー」の「暗証コードロック」を選択し、暗証コードロック 有効 / 無効メニューが表示されます。</p> <p>1-2) 「有効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ と、INPUT ボタンまたは  ボタンで、4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再度入力してください。暗証コードの登録が完了します。</p> <p>● 「暗証コードを入力してください」ダイアログ、および「暗証コードを再入力してください」ダイアログは、表示されてから約 55 秒何も入力しないと閉じます。</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につないで最初に電源を入れるたびに、暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを 5 分間以内に入力しない限り本機を使用できなくなります。</p> <p>この機能は、一度本機の電源を完全に切った ( 1-31) 後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p>●暗証コードを忘れないようにしてください。</p> <p>2. 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ暗証コードロック 有効 / 無効メニューを表示させます。</p> <p>2-2) カーソルボタン▼で、暗証コードロック有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、暗証コードロック機能は無効になります。間違った暗証コードが入力されると、ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、本機の電源が切れます。</p> <p>3. 暗証コードを忘れた場合</p> <p>1) 本機の電源を入れ、暗証コードを確認するダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と  ボタンを同時に、3 秒間押してください。「暗証コードメニュー / 照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。</p> <p>2) 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p>    

(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>状態監視</p>	<p>本機の設置状態が変更されたときに、状態監視のアラームを表示し、この機能を無効にしない限り本機を使用できないようにすることができます。</p> <p>1. 状態監視機能を有効にする</p> <p>1-1) カーソルボタン▲で、状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択してください。現在の設置状態が記録され、状態監視パスワード 有効 / 無効メニューを表示させます。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p> <p>1-2) カーソルボタン◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼でパスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>1-3) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●状態監視パスワードを忘れないようにしてください。 ●この機能は、一度本機の電源を完全に切った (☑1-31) 後で、再度電源を入れないと有効になりません。 ●状態監視 有効 / 無効メニューで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。 ●状態監視のアラームが約 5 分間表示された後、光源が消灯します。 <p>2. 状態監視機能を無効にする</p> <p>2-1) カーソルボタン▲で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。</p> <p>2-2) 登録された状態監視パスワードを入力すると、状態監視機能は無効になり、状態監視 有効 / 無効メニューに戻ります。間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。</p> <p>3. 状態監視パスワードを忘れた場合</p> <p>3-1) カーソルボタン▲ / ▼で、状態監視 有効 / 無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-2) 10 桁のパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。</p>

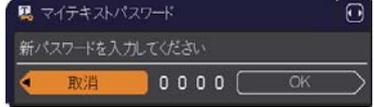
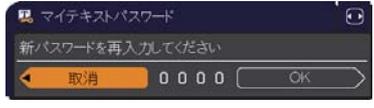
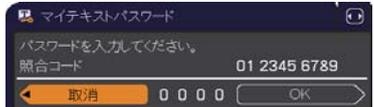


「新パスワードを入力してください」(小)



「パスワードを入力してください」(大)

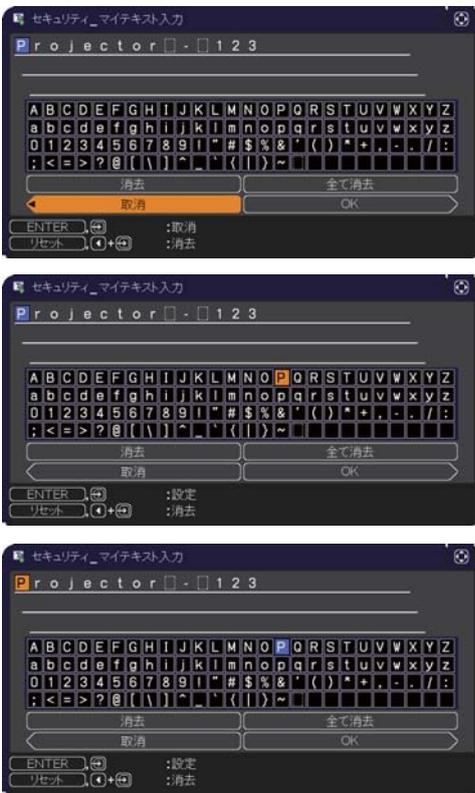
(次ページにつづく)

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト パスワード</p>	<p>マイテキストの上書きや表示設定の変更を防止することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示設定の変更を防ぐため、「マイテキスト表示」メニューが使用できなくなります。 ●「マイテキスト」の上書きを防ぐため、「マイテキスト入力」が使用できなくなります。 <p>1. マイテキストパスワード機能を有効にする (パスワードを設定・登録する)</p> <p>1-1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキストパスワード」を選択し、マイテキストパスワード有効/無効メニューを表示させます。</p>  <p>1-2) カーソルボタン▲で、マイテキストパスワード 有効/無効メニューで「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p>  <p>「新パスワードを入力してください」(小)</p>  <p>1-3) カーソルボタン▲/▼/◀/▶でカーソルを移動させながら、パスワードを入力してください。カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードを再度入力してください。</p>  <p>1-4) カーソルを「OK」に移動し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、マイテキストパスワード 有効/無効メニューに戻ります。</p> <p>2. マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1) 上記の 1-1 をご参照のうえ、マイテキストパスワード 有効/無効メニューを表示させます。</p> <p>2-2) カーソルボタン▼で、マイテキストパスワード 有効/無効メニューで「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると、マイテキストパスワード機能は無効になり、マイテキストパスワード 有効/無効メニューに戻ります。「パスワードを入力してください」(大)</p>  <p>3. マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1) 上記の 1-1 をご参照のうえマイテキストパスワード 有効/無効メニューを表示させます。</p> <p>3-2) カーソルボタン▲/▼で、マイテキストパスワード 有効/無効メニューで「無効」を選択し、「パスワードを入力してください」(大) ダイアログを表示させてください。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3) 10 桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて お客様ご相談窓口 (家電ビジネス情報センター) TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>
<p>マイテキスト 表示</p>	<p>マイテキストの表示/非表示を切り替えられます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面(図2-21)と「入力_インフォメーション」ダイアログ(図2-37)に、登録したマイテキストが表示されます。</p>    <ul style="list-style-type: none"> ●「マイテキストパスワード」(図 上記)が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。

(次ページにつづく)

応用編

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト 入力</p>	<p>(1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティメニュー」の「マイテキスト入力」を選択し、マイテキスト入力ダイアログを表示させます。</p> <p>(2) マイテキストを入力する 最初の3行(下線付き)に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。 カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER ボタン(または  ボタン)を押して入力してください。 リセット ボタンを押して、またはカーソルボタン◀と  ボタンを同時に押して、もしくは「消去」にカーソルを合わせて ENTER ボタン(または  ボタン)を押すと、1文字削除することができます。また、「全消去」にカーソルを合わせて ENTER ボタン(または  ボタン)を押すと、表示されている文字を全て削除することができます。マイテキストは1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>(3) マイテキストを編集する カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、マイテキストが表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタン(または  ボタン)を押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(4) マイテキストを保存する テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタン(または  ボタン)を押してください。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタン(または  ボタン)を押してください。</p> <p>●この項目は、「マイテキストパスワード」(☎2-43)が「無効」になっているときのみ操作できます。</p>
<p>セキュリティ インジケータ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、SECURITY インジケータでの、本機のセキュリティ表示の有効/無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「暗証コードロック」または「状態監視」が有効で、本機がスタンバイ状態のとき、SECURITY インジケータ(☎1-11)が黄色に点滅します。</p>
<p>スタックロック</p>	<p>「スタックロック」メニューの表示をすることができます。</p> <p>簡易スタック機能についての詳細は「簡易スタック」をご参照ください。</p>



仕様

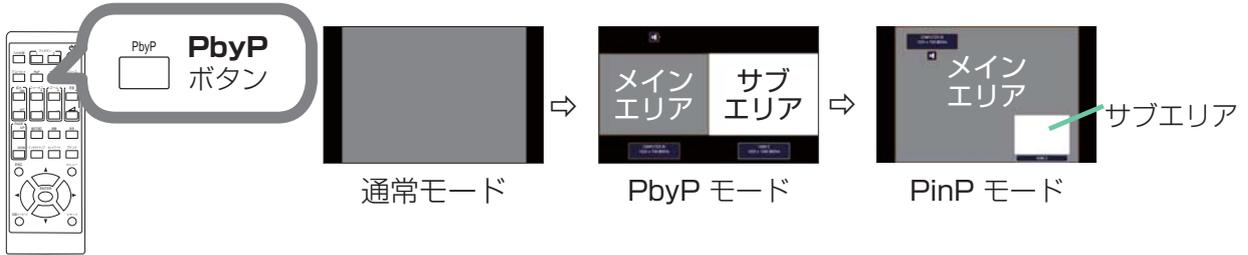
仕様は、基本編をご参照ください。

プロジェクターソフトウェアのライセンス情報について：

- プロジェクターに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。

2画面表示

PbyP/PinP 機能は、2画面表示でメイン、サブの2つのエリアに分割された画面に、2つの異なる映像信号を表示する機能です。



リモコンの **PbyP** ボタンを押すと、2画面表示モードを開始します。また **PbyP** ボタンを押すと、PinP モードに切り替わります。**PbyP** ボタンが押される前に表示していた映像がメインエリアに表示されます。ほとんどの操作は、メインエリアにのみ有効です。メインエリアの映像入力信号とペアになった音声入力信号のみが出力されます。2画面表示を終了するには、もう一度 **PbyP** ボタンを押してください。

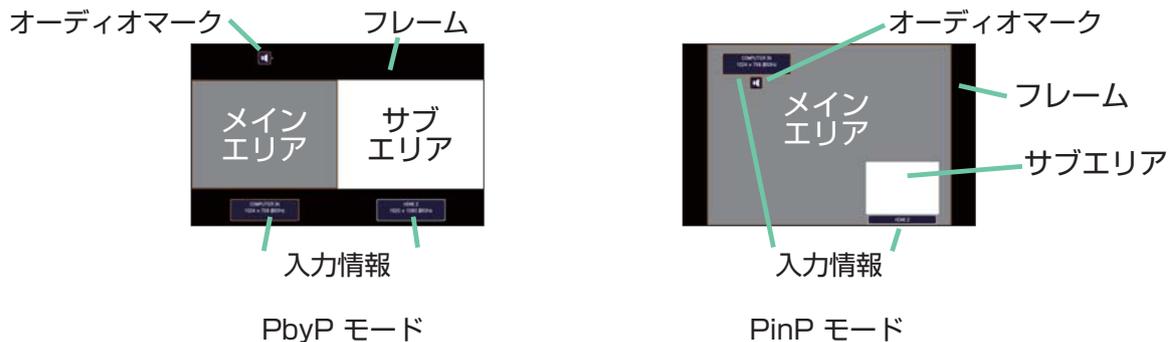
お知らせ

- LAN 端子からの映像を表示している時に **PbyP** ボタンを押すと、メインエリアに異なる端子からの映像が表示されます。
- 2画面表示モード中に本機のメニューを表示させるには、リモコンの **メニュー** ボタンまたは、操作パネルの **▲ / ▼** ボタンを押します。
- 2画面表示モード中は、画面や映像の操作で使用できない機能もありますので、ご注意ください。
- 2画面表示モード中のみ使用できないボタンを押した場合には、無効なボタンが押された時のメッセージ (**4-39**) が表示されない場合があります。
- 2画面表示モード中、使用できない機能は、本機のメニュー上で灰色表示され、選択することができません。

■ 設定情報

2画面機能の使用開始と同時に設定情報がしばらく表示されます。

各エリアの入力情報が表示されます。メインエリアには、黄色枠とオーディオ出力を示すオーディオマークが表示されます。この表示が消えた後は、カーソルボタン **◀ / ▶** で再表示できます。



■ メインエリアの切り替え

設定情報が表示中にメインエリアの表示位置をカーソルボタン **◀ / ▶** で切り替えられます。併せて黄色枠とオーディオマークも切り替わります。



(次ページにつづく)

■ 入力信号の切り替え

2画面表示モード中に、リモコンの各映像入力端子を選択するボタンや、操作パネルの  ボタンを押すと、メインエリア側の入力信号を選択するダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼で信号を選択してください。サブエリア側の入力信号を変更したい場合は、カーソルボタン◀/▶でメインエリアを交替させてから、入力信号を選択してください。

同じ入力信号を左右両方の画面に表示させることはできません。同時に表示できる信号の組み合わせは下表の通りです。×印の付いている組み合わせは、表示できません。

サブエリア メインエリア	COMPUTER IN	LAN	HDMI 1 / MHL	HDMI 2	HDBaseT	VIDEO
COMPUTER IN		X	O	O	O	X
LAN	X		X	X	X	X
HDMI 1 / MHL	O	X		O	X	O
HDMI 2	O	X	O		O	O
HDBaseT	O	X	X	O		O
VIDEO	X	X	O	O	O	



入力情報

PbyP モード



入力情報

サブエリア

PinP モード

お知らせ

- 「その他」メニューの「チャンネルスキップ」( 2-26) が「スキップ」に設定されている端子の組み合わせでも、上表で○印が付いているものは表示することができます。

(次ページにつづく)

2画面表示 (つづき)

■PbyP / PinP 画面入れ替え

PbyP / PinP 画面入れ替えに指定した**マイボタン**を押します。設定に影響せずエリアが入れ替わります。



お知らせ

- 信号によっては、通常モードで適切に表示することができても、PbyP/PinP モードでは正確に表示できない場合があります。
- 「設置メニュー」の「幾何学補正」-「エッジブレンディング」-「モード」(📖1-39)が「マニュアル」に設定されている場合は、PbyP/PinP は使用できません。

■PbyP モードのメインエリアのサイズ変更

PbyP モード時、リモコンのカーソルボタン▲ / ▼でメインエリアのサイズ変更ができます。



■PinP モードのサブエリアの位置変更

PinP 位置に指定した**マイボタン**を押してください。

または、以下の手順に沿って切り替えます。

簡単メニュー > 詳細メニュー > 入力 > PbyP/PinP 設定 > PinP 位置



簡易スタック

簡易スタック機能は、本機を 2 台使用して 1 つの画面を投写する機能です。

2 台のプロジェクターを同時に動作させて 2 台分の明るい画面を投写することができます。2 台を RS-232C クロスケーブルで接続すると連結モードとなります。これらの機能を簡易スタックと呼び、様々な使用法を提供します。

はじめに

簡易スタック時のご注意

簡易スタックの準備を始める前に、以下のご注意をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。その他に必要な情報がある場合は、販売店にご相談ください。

お守りください

- 連結モードは同じ機種 (2 台) の組み合わせでのみ動作可能です。
- 本機を一方のプロジェクターの上に直接置かないでください。
- プロジェクターを縦置きに設置するためには、ラックが必要になります。ラックはお客様にてご用意ください。
- 簡易スタックには、必ずフラットスクリーンをご使用ください。
ご使用になるスクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、2 台の画面がきれいに重なり合わないことがあります。
- ▶ 本機の電源を入れてすぐは、本機内部の温度が上昇し、画面の位置や焦点がずれる場合がありますので、電源を入れて 30 分以上たってから、2 台の画面を重ね合わせてください。
- ▶ 簡易スタックでご使用になる場合は、特に安定した場所に設置してください。また、本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけないようご注意ください。温度の変化や振動や衝撃を与えると、本機の位置が動き、重ね合わせた画面がずれることがあります。画面がずれた場合は、周囲が安定してからもう一度画面を重ね合わせてください。
- ▶ 接続ケーブルの重みや突っ張りで、時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまうことがあります。ケーブルは、本機に負担がかからないよう接続してください。
- ▶ 2 台のプロジェクターが RS-232C ケーブルで接続され、メイン機がサブ機を制御する状態を連結モードといいます。連結モードをご使用になる場合は、外部から **CONTROL** 端子を経由して RS-232C コマンドを受け取ることができません。コマンドを使用して本機を制御する場合は、メイン機をネットワークに接続し、**LAN** 端子を経由してコマンドを送信してください。
- ▶ 連結モードでご使用になる場合は、操作と設定の一部が制限されます。詳しくは (2-70) をご参照してください。

警告



電源プラグ
を
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かない
 - ▶設置器具は、本書の指定品をご使用になり、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。
 - ▶天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
 - ▶本書に指定がある場合を除き、本機に触ったり、物をぶつけて落とさないようご注意ください。



- クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かない



- 調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しない



- 水をかけたり、水や雨のかかる場所に置いたりしない

注意



- 通風孔をふさがない
 - ▶周辺の壁や物、別のプロジェクターから離して設置してください。
 - ▶通風孔をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
 - ▶本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。



- 煙や湿気、ほこりの多いところには置かない
 - ▶超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。

お守りください

- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。
- 電波を発生する装置の近くに設置しないでください。

準備

簡易スタック

簡易スタックを使用すると、2台のプロジェクターの画面を簡単に重ねることができます。

連結モードと単体モード

簡易スタック機能には2つの使用モードがあります。

連結モードでは、2台のプロジェクターをRS-232C（クロス）ケーブルで接続し、必要な設定を行うことで、2台を連携して使用できます。2台を自動的に交代させて使用する場合に便利です。

単体モードでは、2台のプロジェクターをRS-232C（クロス）ケーブルで接続せずに、各々独立して使用します。

連結モードと単体モードの遠隔操作について

連結モードでは、片方のプロジェクターをメイン機に、もう一方をサブ機に設定します。リモコン操作はメイン機のみ動作し、サブ機の操作はメイン機を通して行います。メイン機、サブ機とも、操作するにはメイン機の操作パネルを操作するか、リモコンをメイン機に向けて操作します。詳しくは「連結モードの重要なお知らせ」（[図2-62, 63](#)）をご覧ください。

リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（[図2-32](#)）やリモコンID機能*（[図2-33](#)）もご利用いただけます。

* オプションリモコンのみ使用できます。

設置

安全にご使用いただくため、「簡易スタック時のご注意」（[図2-49, 50](#)）に加え、以下の簡易スタックの正しい使い方についてもお読みください。

- 同じ機種のプロジェクターをご使用ください。
- リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能（[図2-32](#)）やリモコンID機能*（[図2-33](#)）もご利用いただけます。
- 時間がたつと重ねた画面が動いてずれてしまう場合があります。その際はもう一度画面を重ね合わせてください。

* オプションリモコンのみ使用できます。

連結モードの準備

RS-232Cケーブルを接続して連結モードをご使用になる場合は、2台のプロジェクターに以下の設定がされていることをご確認ください。正しく設定されていない場合、連結モードは正常に動作しません。

- 「設置」メニューの「スタンバイモード」（[図2-17](#)）を「通常」に設定する。
- 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「通信タイプ」（[図2-34](#)）を「オフ」に設定する。
- 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」（[図2-44](#)）を「無効」に設定する。

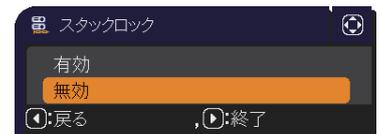
「スタックロック」が「有効」に設定されている場合、簡易スタック関係のメニューは操作できません。以下の手順に従って、設置および設定の間はスタックロックを「無効」に設定してください。

(1) カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」 - 「セキュリティ」メニュー（パスワードを入力） - 「スタックロック」

「スタックロック」ダイアログが表示されます。

(2) カーソルボタン ▲ / ▼ で「無効」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。



片方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

片方のプロジェクターの設置位置と投写角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(図1-34)をご参照ください。

注意



▶本書の指定品の設置器具を使用すると、任意の方向に設置することができます。このような特殊な設置については、必ず事前に販売店にご相談ください。

お知らせ

- 設置位置を決める際には以下のことに気をつけてください。
 - VERTICAL レンズシフトダイヤルは、一番上に設定してください。
 - 画面のサイズと映像の焦点を合わせる (図1-34) 際は、ズーム調節を WIDE(大きく表示) 側一杯にはしないようご注意ください。
 - HORIZONTAL レンズシフトダイヤルは、左右中央付近に設定してください。

片方のプロジェクターを準備する

1. 片方のプロジェクターの電源を入れてください。
2. レンズシフトダイヤルを一番上へ設定してください。

お知らせ

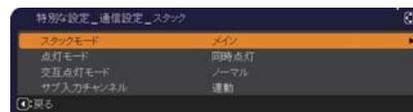
- VERTICAL レンズシフトダイヤルを一番上に設定していないと、他方のプロジェクターの画面が片方のプロジェクターの画面にうまく重なり合わないことがあります。
- 「設置」メニューの「設置方法」(図2-17) の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。
- HORIZONTAL レンズシフトダイヤルは、左右中央付近に設定してください。

3. ZOOM リング、FOCUS リング、レンズシフトダイヤルを使用して片方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください。(図1-35) また、必要に応じて、キーストン、コーナーフィットを使い画面の位置および形状を調節してください。(図1-37)

お知らせ

- ズーム調節が WIDE(大きく表示) 側一杯になっていると、他方のプロジェクターの画面を片方に合わせて調節できず、2台の画面が重なり合わないことがあります。片方のプロジェクターの画面サイズは、他方のプロジェクターの画面サイズより小さくなるように調節してください。
- キーストン、コーナーフィット、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。
- 単体モードでご使用になる場合は「他方のプロジェクターの設置」(図2-54) へ進んでください。

4. メニューボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(図2-3, 4)をご参照ください。
5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(図2-35)
スタックメニューが表示されます。
6. カーソルボタン ▲ / ▼ で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。
カーソルボタン ▲ / ▼ で「サブ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。
7. カーソルボタン ▶ を押した後、表示されている設定の保存を確認するダイアログが表示されます。
カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。



お知らせ

- リモコンによる誤操作を防止するため、操作パネルによる操作や、有線リモコンでの操作を推奨します。また、キーロック機能(図2-32) やリモコン ID 機能* (図2-33) もご利用いただけます。
- 「スタックモード」の設定を「メイン」または「サブ」に変更した場合、「その他」メニューの「特別な設定」 - 「制御端子」 - 「RS-232C」(図2-36) の設定は強制的に CONTROL に切り替わります。

* オプションリモコンのみ使用できます。

他方のプロジェクターの設置

設置位置を決める

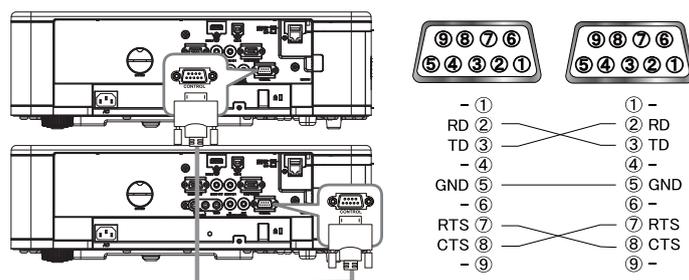
他方のプロジェクターの設置位置と投写角度を決めます。詳細は「傾きを調節する」(図1-34)をご参照ください。

お知らせ

- 他方のプロジェクターの画面が片方のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合、画面がうまく重ならないことがあります。

プロジェクターを接続する

連結モードでご使用になる場合は、サブのプロジェクターの **CONTROL** 端子とメインのプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C ケーブルで接続してください。



(次ページにつづく)

他方のプロジェクターを準備する

1. 他方のプロジェクターの電源を入れてください。

お知らせ

- 画面が片方のプロジェクターの画面に対して大きく傾いている場合は、アジャスタ脚で傾きを調節してください。

2. 「キーストン」、「コーナーフィット」の調節を一度リセットしてください。(☞1-37, 38)

お知らせ

- キーストン、コーナーフィット、ワーピングの機能を同時に使用することはできません。適切な機能を使用してください。
- 「設置」メニューの「設置方法」(☞2-17)の設定を変更すると、画面の位置がずれる場合があります。あらかじめ「設置方法」を設定してから画面を重ね合わせてください。

3. 片方のプロジェクターの画面にうまく重なるように、**ZOOM** リング、**FOCUS** リング、レンズシフトダイヤルを使用して他方のプロジェクターの画面サイズと映像の焦点、画面の垂直／水平方向の位置を調節してください(☞1-34)。

お知らせ

- キーストン、コーナーフィットを使い、画面の位置、形状を調節してください。キーストン、コーナーフィットでは画面のサイズを大きくすることはできません。あらかじめ、他方のプロジェクターの画面の中に、片方のプロジェクターの画面が完全に含まれるように設置しておくことが重要です。
- 他方のプロジェクターをリモコンで操作する際、片方のプロジェクターも反応してしまうため、他方のプロジェクターを操作パネルで操作することをおすすめします。
- 単体モードで使用する場合は、「その他」メニューの「特別な設定」－「キーロック」(☞2-32) または「リモコンID」*(☞2-33) で、片方のプロジェクターのリモコン操作をロックし、片方のプロジェクターをリモコンで、他方のプロジェクターは操作パネルで操作してください。
- 単体モードを使用する場合は、「単体モードの場合」(☞2-58) へ進んでください。

* オプションリモコンのみ使用できます。

4. **メニュー**ボタンでメニューを表示させてください。「メニュー機能の使い方」(☞2-3, 4) をご参照ください。

5. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。

「詳細メニュー」- 「その他」メニューの「特別な設定」－ 「通信設定」

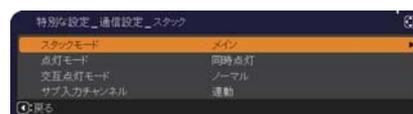
－ 「スタック」(☞2-35)

スタックメニューが表示されます。

6. カーソルボタン ▲ / ▼ で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「スタックモード」ダイアログを表示させてください。カーソルボタン ▲ / ▼ で「メイン」を選択し、カーソルボタン ◀ を押して前のメニューに戻ってください。

7. カーソルボタン ▲ / ▼ で「点灯モード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「点灯モード」ダイアログを表示させてください。カーソルボタン ▲ / ▼ で「同時点灯」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。

8. カーソルボタン ▶ を押した後、表示されている設定を保存するかを確認するダイアログが表示されます。カーソルボタン ▶ を押して設定を完了させてください。



お知らせ

- 「スタックモード」の設定を「メイン」または「サブ」に変更した場合、「その他」メニューの「特別な設定」－ 「制御端子」－ 「RS-232C」(☞2-36) の設定は強制的に CONTROL に切り替わります。

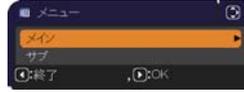
メイン機とサブ機の設定確認

1. メイン機を操作するため、リモコンの**メニュー**ボタンを押してください。

お知らせ

●連結モードでご使用になる場合、メイン機はリモコン信号を受信することができますが、サブ機はリモコン信号には反応しません。

2. 以下のダイアログが画面に表示されます。



メイン機



サブ機

3. カーソルボタン▶を押すとダイアログは閉じ、「メイン」を選択していた場合はメイン機のメニューが表示されます。

カーソルボタン◀を押すとダイアログは閉じ、メニューも消えます。

お知らせ

●これらのダイアログが表示されない場合は、RS-232C ケーブルの接続 (☞2-54) を確認し、「スタックモード」ダイアログでメイン機およびサブ機の設定を確認してください (☞2-35)。

画面位置の微調節

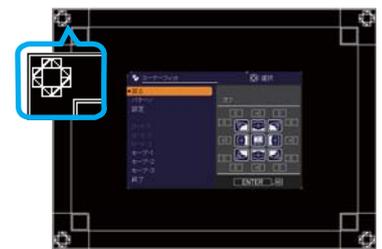
2 台のプロジェクターの画面を重ね合わせるには、「コーナーフィット」を使ってメイン機の画面サイズと位置を調節します。

連結モードの場合

1. リモコンの**メニュー**ボタンまたはメイン機の操作パネルの **MENU** ボタンを押してください。
「メニュー」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機のメニューが表示されます。

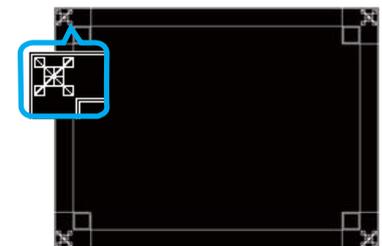


2. リモコンまたはメイン機の操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。メイン機、サブ機の画面にそれぞれの連結モード用のテンプレート画面が表示され、メイン機の画面には「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。



3. 「画面のひずみを補正する」(図 1-37, 38) を参考に、四隅の目安がきれいに重なるよう、メイン機の画面のサイズと形状をサブ機の画面に合わせてください。

- ①まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせます。
- ②その後で同じ順番で細かく合わせてください。

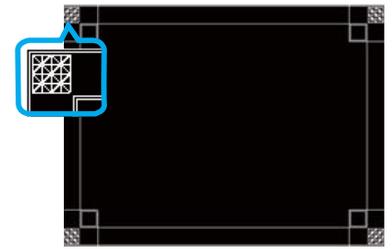


お知らせ

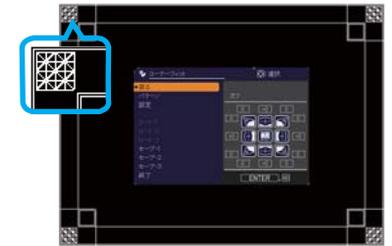
- 次ページの「お知らせ」をご覧ください。

単体モードの場合

1. サブのプロジェクターに向けてリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。
メニューが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「詳細メニュー」を表示させ、「スクリーン」メニューの「テンプレート」(☞2-24)で「スタック」を選択し、
テンプレート画面を表示させてください。
3. メインのプロジェクターの操作パネルの**メニュー**ボタンを押してください。
メニューが表示されます。
4. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「簡単メニュー」、または「詳細メニュー」の「設置」メニューを表示させ、「コーナーフィット」を選択してカーソルボタン▶を押してください。
「スタック」のテンプレート画面と「コーナーフィット」ダイアログが表示されます。
「スタック」のテンプレート画面には、四隅に、画面を重ね合わせるための目安が表示されます。
調節用テストパターンを表示させるには、パターン設定をオンにしてください。
5. 「画面のひずみを補正する」(☞1-37, 38)を参考に、もう片方の画面に、
サイズと形状を合わせてください。
 - ①まずは左上隅→右上隅→右下隅→左下隅の順で粗く合わせます。
 - ②その後で同じ順番で細かく合わせてください。



スタックのテンプレート



コーナーフィット

お知らせ

- 「コーナーフィット」の詳細については、「画面のひずみを補正する」の「コーナーフィット」(☞1-37)をご参照ください。
- 必ずフラットスクリーンをご使用ください。スクリーンがたわんでいたり、破損していたり、傾いていたりすると、「コーナーフィット」で四辺のたわみを調節しても、画面をきれいに重ね合わせるのは大変難しくなります。
- 「コーナーフィット」で画面を重ね合わせた後でも、入力信号によっては映像がずれてしまうことがあります。その際は、以下の方法を試してください。
 - オートボタンまたは「表示」メニューの「オートアジャスト実行」(☞2-11)で画面の自動調整を実行する。
 - 「表示」メニューの「垂直位置」、「水平位置」(☞2-11)を調節する。
 - 「入力」メニューの「解像度」(☞2-14)を2台共同設定にする。

スタックメニュー設定

「スタック」メニューを使って連結モードの設定をします。

お知らせ

- 単体モードでご使用になる場合は、本章を読んでいただく必要はありません。
- ここまでに行った設定を変更する必要がない場合は、「点灯モードを選択する」へ進んでください。
- 「連結モードの重要なお知らせ」をお読みください。(☞2-62, 63)

スタックメニューを表示する

カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(☞2-35)



画面に「スタック」メニューが表示されます。
連結モードの設定は本メニューで行います。

お知らせ

- 2台のプロジェクターで以下の設定を確認してください。正しく設定されていない場合、「スタック」メニューは選択できません。
 - 「設置」メニューの「スタンバイモード」(☞2-17) : 「通常」
 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「通信タイプ」(☞2-34) : 「オフ」
 - 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(☞2-44) : 「無効」

メイン、サブまたはオフを選択する

連結モードでご使用になる場合は、「メイン」または「サブ」を選択してください。「スタックモード」ダイアログで、片方のプロジェクターが「メイン」に設定され、他方のプロジェクターが「サブ」に設定されると連結モードが始動します。連結モードを使用しないときは「オフ」を選択してください。

1. カーソルボタン▲ / ▼ で「スタック」メニューの「スタックモード」を選択し、カーソルボタン▶ を押すと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲ / ▼ でダイアログの「メイン」、「サブ」または「オフ」を選択してください。



オフ: 連結モードを終了します。

メイン: プロジェクターをメイン機に設定します。

サブ: プロジェクターをサブ機に設定します。

3. カーソルボタン◀ を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶ を押して設定を終了してください

お知らせ

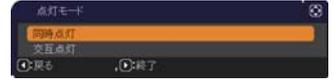
- 「スタックモード」の設定は、Web コントロール画面 (☞3-27) から確認できます。「プロジェクター Web コントロール」 - 「プロジェクター状態」を選択し、「スタックモード」を確認してください。本項目は、スタックモードが「メイン」または「サブ」に設定されているかどうかが表示します。



点灯モードを選択する

同時点灯モードまたは交互点灯モードを選択します。

1. カーソルボタン▲/▼で「スタック」メニューの「点灯モード」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「点灯モード」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼で「同時点灯」または「交互点灯」を選択してください。
同時点灯：2台のプロジェクターの電源を同時に起動します。
交互点灯：2台のプロジェクターの電源を交互に起動します。
3. カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。



お知らせ

- 「同時点灯」が選択された場合、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンのボタンが押されると、「メイン」か「サブ」を選択する画面が表示されます。以下の例のように操作したいプロジェクターを選択してください。
 - **メニュー**ボタンを押すと、「メイン」と「サブ」を選択する画面が表示されます。「メイン」を選択すると、メイン機の「簡単メニュー」または「詳細メニュー」が表示されます。
 - **幾何学補正**ボタンを押すと、「メイン」または「サブ」を選択するメニューが表示されます。「メイン」を選択するとメイン機の幾何学補正メニューが表示されます。
- 「点灯モード」で「同時点灯」が選択された場合、以下のような動作の制限があります。
 - メイン機、サブ機共、オートパワーオフ機能と映像の静止機能が無効になります。
 - メイン機、サブ機の電源 ON に要する時間が若干長くかかります。これは故障ではありません。
- 「同時点灯」が選択された場合、OSD が表示されているときに画面が暗くなることがあります。
- PbyP、PinP 表示時、メニューなどの OSD を表示させると、一方のプロジェクターが黒表示となるため、画面が暗くなることがあります。
- 「点灯モード」を「同時点灯」に設定するときは、メイン機とサブ機の画面を合わせるため、以下の通り設定を変更してください。
 - 「初期画面」と「テンプレート」の設定を同じ設定にする。
 - マイスクリーン (☞2-22) に同じ画面を登録する。
 - 同じマイ イメージ (☞3-59)、および同じメッセージテキスト (☞3-60) を登録する。
- 「点灯モード」を「同時点灯」に設定するときは、画面の位置がずれて画質が劣化する場合があります。画面の位置を調節する前に、「設置」メニューの「設置方法」(☞2-17)を設定してください。
- 「交互点灯」が選択された場合、動作しているプロジェクターにエラーが発生し光源が消えた場合は、もう1台のプロジェクターが自動的に動作を開始します。しかし、RS-232C ケーブルが抜けている場合や電源が供給されていない場合は、もう1台のプロジェクターは起動しません。
- 2台のプロジェクターの「暗証コードロック」または「状態監視」が有効に設定されている場合、「交互点灯」が選択されていても両方のプロジェクターは点灯しません。暗証コードを入力すると、片方のプロジェクターが点灯します。
- 連結モードでは、重ねて使用する場合にサブ機のインジケータが見えにくくなるため、メイン機のインジケータ表示が通常と異なる動作になります。メイン機とサブ機の両方がスタンバイ状態の場合、リモコンの⏻ボタンまたはメイン機のコントロールパネルの **STANDBY/ON** ボタンが押されると、メイン機が「スタックモード」の設定によりどちらのプロジェクターを点灯させるかを決めます。
 - メイン機の **POWER** インジケータが緑色に点滅してる間は、メイン機がどちらのプロジェクターを点灯させるか決めます。
 - メイン機の電源を入れた場合、メイン機の **POWER** インジケータは通常状態であれば緑色に点灯したままです。
 - サブ機の電源を入れた場合、メイン機の **POWER** インジケータは橙色に点灯します。
 - メイン機でエラーが起きた場合には、メイン機の **POWER** インジケータは赤色に点滅します。



「メイン」および「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面



「メイン」および「サブ」の選択画面

メイン機のメニュー画面

交互点灯モードを選択する

「点灯モード」で「交互点灯」(☞2-57)を選択した場合、「交互点灯モード」の「オート」または「ノーマル」を選択してください。

- カーソルボタン▲/▼で「スタック」メニューの「交互点灯モード」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「交互点灯モード」ダイアログが表示されます。
- カーソルボタン▲/▼でダイアログの「オート」または「ノーマル」を選択してください。
 オート：光源の使用時間が短い方を点灯させます。
 ノーマル：前回点灯していなかった方を点灯させます。
- カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。

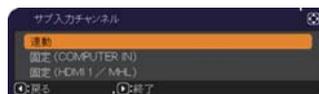


お知らせ

- 「交互点灯モード」ダイアログは「点灯モード」ダイアログで「交互点灯」が選択されている場合にメイン機において操作することができます。
- 「オート」に設定しても、本機の画質や信頼性を維持するため、光源使用時間の長い方が点灯する場合があります。

サブ機の入力信号を選択する

- カーソルボタン▲/▼で「スタック」メニューの「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン▶を押すと「サブ入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
- カーソルボタン▲/▼でダイアログの「連動」、「固定 (COMPUTER IN)」または「固定 (HDMI 1 / MHL)」を選択してください。
 連動：メイン機と連動して、メイン機と同じ入力端子に切り替えます。
 固定 (COMPUTER IN)：COMPUTER IN 端子からの入力に固定されます。COMPUTER IN 端子には、メイン機の MONITOR OUT 端子からの入力を接続してください。
 固定 (HDMI 1 / MHL)：HDMI 1 / MHL 端子からの入力に固定されます。HDMI 1 / MHL 端子には、メイン機の HDMI OUT 端子からの入力を接続してください。
- カーソルボタン◀を押して前のメニューへ戻るか、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。



お知らせ

- PbyP/PinP モード使用の場合、「サブ入力チャンネル」は「連動」に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定すると、メイン機の COMPUTER IN 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、リモコンの入力端子を切り替えるボタン、またはメイン機の  ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定する場合は、メイン機の MONITOR OUT 端子とサブ機の COMPUTER IN 端子をコンピュータケーブルで接続してください。選択されたポートからの画像は、メイン機の MONITOR OUT 端子から出力され、サブ機の COMPUTER IN 端子へ入力されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定すると、メイン機の COMPUTER IN 端子（とサブ機の COMPUTER IN 端子）にビデオ信号を入力できるようになります。COMPUTER IN 端子にビデオ信号を入力する場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(☞2-12) および「COMPUTER-イン」(☞2-13) でビデオ信号について設定してください。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定すると、「設置」メニューの「スタンバイ出力」の MONITOR OUT の設定は無効になります。

(次ページにつづく)

お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (HDMI 1 / MHL)」に設定すると、メイン機の HDMI 1 / MHL 端子からの映像信号しか選択できなくなります。連結モードで使用中は、リモコンの入力端子を切り替えるボタン、またはメイン機の INPUT ボタンを押すと、映像入力信号を選択するダイアログが表示されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (HDMI 1 / MHL)」に設定する場合は、メイン機の HDMI 1 / MHL 端子に映像信号を入力し、メイン機の HDMI OUT 端子とサブ機の HDMI 1 / MHL 端子を HDMI ケーブルで接続してください。メイン機に入力された信号は、メイン機の HDMI OUT 端子から出力され、サブ機の HDMI 1 / MHL 端子に入力されます。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (HDMI 1 / MHL)」に設定すると、メイン、サブ共に HDMI 1 / MHL または HDBaseT の入力チャンネルのみ選択可能です。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (HDMI 1 / MHL)」に設定すると、「設置」メニューの「HDMI 出力」(図2-19)の設定は無効になります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (HDMI 1 / MHL)」に設定すると、「設置」メニューの「スタンバイ出力」の HDMI OUT、および AUDIO OUT の設定は無効になります。

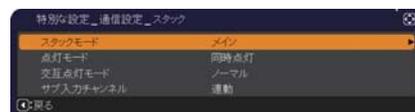
連結モードのメニューを終了する

連結モードのメニュー操作を終了する前に、「スタック」メニューの全ての設定を確認してください。「スタック」メニュー内の各ダイアログは、カーソルボタン◀を押して「スタック」メニューへ戻ることができます。以下を参考に連結モードのメニュー操作を終了してください。

「スタック」メニュー

各設定を変更した後にカーソルボタン◀（「戻る」機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

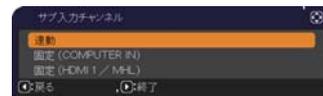
- カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずに「通信設定」(図2-32)へ戻ります。



「スタック」メニューより呼び出されたダイアログ

各設定を変更した後にカーソルボタン▶（終了機能として動作）を押すと、確認ダイアログが表示されます。

- カーソルボタン▶（「はい」機能として動作）を押すと、設定を保存し、ダイアログを閉じます。設定が更新される間、一旦黒画面になります。しばらくお待ちください。
- カーソルボタン◀（「いいえ」機能として動作）を押すと、設定を保存せずにダイアログを閉じます。



連結モードの重要なお知らせ

ここではメイン機およびサブ機を設定するにあたり、メニュー操作の説明以外の重要な情報を記載しています。よくお読みになり、連結モードをご使用ください。

- 連結モードでご使用になるには、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、他方のプロジェクターをサブ機に設定する必要があります。
- 連結モード設定が完了すると、サブ機は、操作パネルの **STANDBY/ON** ボタン以外は直接操作できなくなります。サブ機の操作はメイン機の操作パネルを使用して行います。リモコンもメイン機に向けて操作してください。
- サブ機の **STANDBY/ON** ボタンを押しても、サブ機だけの電源を切ることはできません。サブ機の **STANDBY/ON** ボタンを 3 秒間押し続けると、メイン機とサブ機の両方のプロジェクターの電源が切れます。サブ機の **STANDBY/ON** ボタンを押しても、メイン機とサブ機のどちらの電源も入れることはできません。
- メイン機はリモコンで操作することができますが、サブ機はリモコンで操作できないため、リモコンはメイン機に向けて操作してください。
- 有線リモコンをご使用になる場合は、メイン機にケーブルを接続してください。
- 連結モードでご使用になる場合は、「オートサーチ」(図2-26)機能は無効になります。
- サブ機をネットワークに接続しても、Web コントロールでサブ機の電源を入れることはできません。また、Web コントロールのリモートコントロール(図3-46)でサブ機は操作できません。
- メッセージ機能(図3-60)で、優先度の高いテキストデータを、強制的に電源を入れて表示しようとする時、連結モードが強制解除され、メッセージテキストを表示します。もう一度連結モードに設定するには、「スタックモード」でメイン機を「メイン」に設定し直すか、いったん 2 台共電源を切って、電源を入れ直してください。
- 連結モード設定が完了すると、以下の設定・操作が共通になります。
 - 消音機能、および画面の拡大機能
 - 「アスペクト」(図2-10)、「オーバースキャン」(図2-10)、「COMPUTER-イン」(図2-13)、「OSD メッセージ」(図2-19)、「マイボタン」(図2-27)、「テンプレート」(図2-24)、「2 画面表示」(図2-46 ~ 48)

- 連結モード設定が完了すると、以下の機能は無効になります。
 - 「スタンバイモード」 (☞2-17)
 - 「オートサーチ」 (☞2-25)
 - 「ダイレクトパワーオン」 (☞2-25)
 - 「オートパワーオフ」 (☞2-26)
 - 「通信タイプ」 (☞2-32)
 - 「チャンネルスキップ」 (☞2-25)
- キーロックはメイン機の設定で動作します。サブのキーロック設定は無効になります。
- 連結モードでは、LAN 端子からの映像信号を選択できません。
- PbyP/PinP モードを使用している場合、「サブ入力チャンネル」 (☞2-64) は「連動」に設定されます。
- 連結モードで使用中に、何らかのエラーが起きると、アイコン付のメッセージが画面に表示されます。

このメッセージは、約 20 秒間何もボタン操作が無ければ、小さなアイコンダイアログに変化します。アイコンダイアログが表示されているときにカーソルボタン◀を押すと、元のメッセージダイアログが表示されます。



大きいダイアログ

アイコンに添えられた番号、「1」はメイン機、「2」はサブ機を示します。

メッセージが表示されたら、次ページの表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。



小さいダイアログ

メッセージ	説明
 光源エラー	光源が点灯しません。 光源および本機内部が高温になっている可能性があります。
 ファンエラー	冷却ファンが動作していません。
 温度エラー	本機内部が高温になっています。
 エアフローエラー	本機内部の温度が上がっています。 排気口が塞がれてないかどうか確認してください。
 低温エラー	本機の内部温度が低すぎます。
 その他のエラー	上記以外のエラー。

- 何らかの理由でプロジェクターの電源ケーブルを抜く、あるいはテーブルタップのスイッチなどで電源を切るときは、次に電源を入れたときに正しく連結モードで起動させるため、片方だけでなく、2 台両方の電源を切ってください。
- 2 台のプロジェクターにセキュリティ (暗証コードロック機能 (☞2-38)、状態監視機能 (☞2-42)) が設定されている場合、2 台共電源が入ります。メイン機のパスワードまたは暗証コードを入力した後にサブ機のパスワードまたは暗証コードを入力してください。「交互点灯」モードが選択されている場合、片方のプロジェクターの電源が切れます。
- 片方のプロジェクターにのみセキュリティ (暗証コードロック機能 (☞2-38)、状態監視機能 (☞2-39)) が設定されている場合、電源を入れた際に以下に従いパスワードまたは暗証コードを入力してください。
 - 「同時点灯」モードの場合、2 台共電源が入ります。セキュリティを設定しているプロジェクターのパスワードまたは暗証コード入力してください。
 - 「交互点灯」モードの場合、セキュリティを設定しているプロジェクターの電源が入るときは、1 台のみ電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示されます。セキュリティを設定していない方のプロジェクターの電源が入るときは、いったん 2 台共電源が入り、パスワードまたは暗証コードを確認するダイアログが表示され、入力すると片方のみ電源が切れます。

ケーブルを接続する

2台のプロジェクターの画面を重ねるためには、メイン機とサブ機に同じ信号を入力する必要があります。ここでは信号の入力方法について説明します。必要に応じて方法を選択してください。

お知らせ

- 単体モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の設定がないため、以下ではメイン機を片方のプロジェクター、サブ機を他方のプロジェクターとしてお読みください。
- プロジェクターへのケーブルの接続については「他の機器と接続する」(P1-18～22)を、入出力端子の仕様については「入出力信号端子」(P4-5～8)をご参照ください。

RS-232C ケーブルを接続する

連結モードでご使用になる場合、2台のプロジェクターの **CONTROL** 端子を RS-232C (クロス) ケーブルで接続してください(P2-51)。単体モードでご使用の場合はこの接続は必要ありません。

お知らせ

- 連結モードで使用中にメイン機とサブ機を接続する RS-232C ケーブルが外れてしまうと、自動的に単体モードに切り替わります。再度連結モードに設定するには、ケーブルを外したまま 10 秒以上置いてから、いったん 2 台の電源を切って冷まし、再度 RS-232C ケーブルを接続して電源を入れてください。

信号ケーブルを接続する

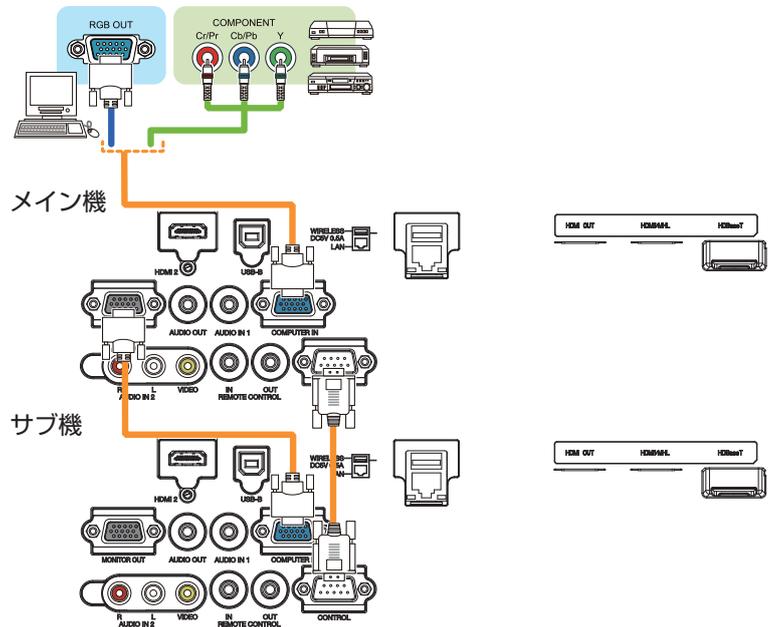
サブ機へ信号を入力するには、下記2つの方法があります。

- メイン機の **MONITOR OUT (HDMI OUT)** 端子からサブ機へ信号を入力する。
- 2 台にそれぞれ同じ信号を入力する。

メイン機からサブ機へ信号を入力する

MONITOR OUT 端子を使用する場合

- 1.メイン機の **MONITOR OUT** 端子とサブ機の **COMPUTER IN** 端子を、ケーブルで接続してください。
- 2.映像信号を出力する外部機器を、メイン機の **COMPUTER IN** 端子に接続してください。



お知らせ 連結モードの場合

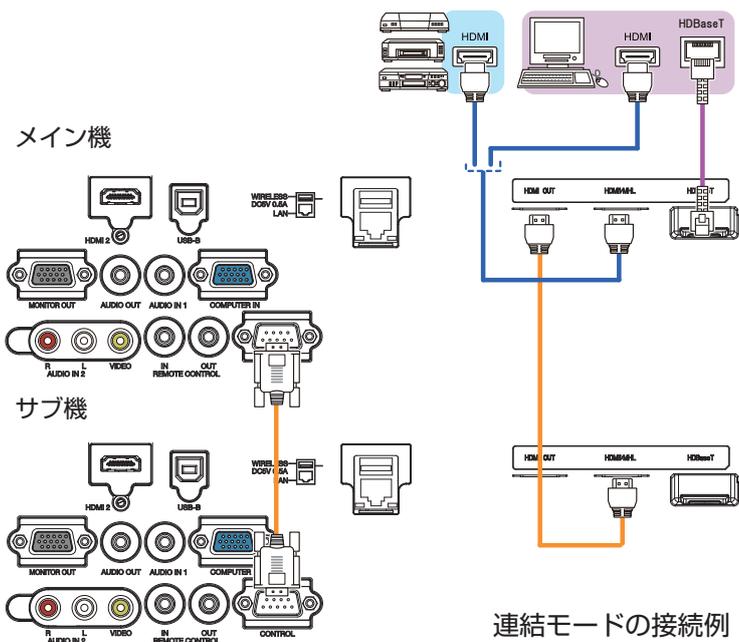
- 連結モードでは、メイン機の **COMPUTER IN** 端子のみ入力端子として使用できます。他の端子は映像信号入力端子としては使用できません。
- コンポーネントビデオ信号を **COMPUTER IN** 端子に入力することができます。

お知らせ 単体モードの場合

- MONITOR OUT** 端子からは **COMPUTER IN** 端子から入力された映像信号のみ出力できます。他の入力端子を使用する場合は、2 台のプロジェクターにそれぞれ映像信号を入力してください。

HDMI OUT 端子を使用する場合

1. メイン機の HDMI OUT 端子とサブ機の HDMI 1 / MHL 端子を、HDMI ケーブルで接続してください。
2. 映像信号を出力する外部機器を、メイン機の HDMI 1 / MHL 端子または HDBaseT 端子に接続してください。



メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 信号分配器などを使用して映像機器の出力信号を 2 つに分配してください。
2. 映像機器の出力をメイン機およびサブ機と同じ入力端子へ接続してください。

お知らせ 連結モードの場合

- 連結モードでは、LAN 端子をメイン機の入力端子として使用することはできません。

お知らせ 単体モードの場合

- 全ての入力端子を使用することができます。2 台のプロジェクターに同じ信号を入力してください。

メニューを使って入力端子の設定をする

メニュー操作の準備

単体モードでご使用になる場合、リモコンの入力端子を選択するボタンまたは操作パネルの  ボタンを押すと、ケーブルを接続する端子を選択することができます。

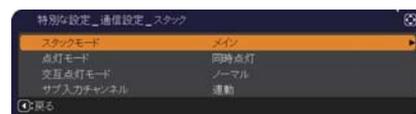
単体モードをご使用の場合の設定は終了です。

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。メイン機は連結モードの入力設定に従って動作します。

メイン機の動作状態を確認する

連結モードでご使用になる場合、連結モードのメニュー操作に関する全ての設定と変更はメイン機で行ってください。連結モードのメニューを操作する前に、メイン機が動作していることを確認してください。

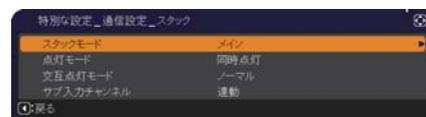
1. リモコンのメニューボタンを押してください。
2. 右図のようなメニューダイアログが現れた場合は、2台のプロジェクターには「同時点灯」モードが設定されています。「メニューを設定する」( 2-67) へ進んでください。ダイアログが表示されない場合は、「点灯モード」が「交互点灯モード」に設定されており、メインまたはサブプロジェクターのいずれかが動作しています。次へ進んでください。
3. カーソルボタン  /  /  /  で以下のメニューに進んでください。「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」( 2-35)「スタック」メニューが表示されます。
4. 「スタック」メニューで「スタックモード」の設定を確認してください。
 - 「メイン」が表示されれば、メイン機として動作しています。「メニューを設定する」( 2-67) へ進んでください。
 - 「サブ」が表示されれば、メイン機は電源が切れており、サブ機が動作しています。



メイン機の電源を入れる

前項の「メイン機の動作状態を確認する」を行った結果、2台のプロジェクターは「交互点灯」モードに設定されており、サブ機が動作している事が確認されました。連結モードの設定はメイン機が動作している場合でなければ変更できないため、ここではサブ機からメイン機への切り替え方法について説明します。

1. カーソルボタン  /  /  /  で以下のメニューに進んでください。「詳細メニュー」 「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」( 2-35)「スタック」メニューが表示されます。
2. 「交互点灯モード」の設定を確認します。「ノーマル」が表示された場合は、2台のプロジェクターは交互に光源を点灯させる動作になっています。1度電源を落とし、再度電源を入れると、次はメイン機の光源が点灯します。
 - (1) メイン機のリモコンの  ボタンまたは操作パネルの **STANDBY / ON** ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
 - (2) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるためにリモコンの  ボタンまたは **STANDBY / ON** ボタンを押してください。メイン機の電源が入ります。



- 「オート」が表示された場合は、光源の使用時間が短い方のプロジェクターの電源が入ります。そのため、メイン機の電源が入らない可能性があります。メイン機の電源を入れるためには以下を行ってください
- (1) カーソルボタン▲ / ▼で「スタックモード」を選択し、カーソルボタン ▶ を押しと「スタックモード」ダイアログが表示されます。
 - (2) カーソルボタン▲ / ▼で「オフ」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して設定を終了してください。(図2-62)
 - (3) サブ機のコントロールパネルを操作するか、リモコンをサブ機に向けて操作してください。上記手順を繰り返し、再度「スタックモード」ダイアログを表示してください。
 - (4) メニュー終了後、10秒以上お待ちください。
 - (5) リモコンの  またはメイン機の操作パネルの **STANDBY / ON** ボタンを押すと、サブ機の電源が切れます。
 - (6) プロジェクターが冷えたら、再度電源を入れるためにリモコンの  または **STANDBY / ON** ボタンを押してください。「交互点灯モード」が「オート」に設定されている場合でも、メイン機の電源が入ります。
3. メイン機が動作しているため、連結モードの設定を変更することができます。「メニューを設定する」(図下記)へ進んでください。

お知らせ

- 何らかのエラーが原因でメイン機の電源が入らない場合、上記の手順を行った場合でもサブ機の電源が入ることがあります。メイン機のエラーを解決した後、連結モードの設定を変更してください。

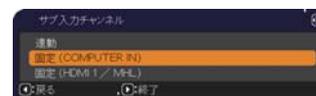
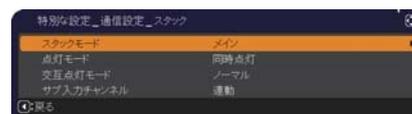
メニューを設定する

連結モードでご使用になる場合は、以下をお読みください。

メイン機を経由してサブ機へ映像信号を入力する場合、コンピュータ信号とビデオ信号（コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号）の場合で操作が異なります。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する - コンピュータ信号

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。
表示されていない場合はリモコンの **メニュー** ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲ / ▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。
2. カーソルボタン ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」 - 「その他」メニューの「特別な設定」 - 「通信設定」 - 「スタック」(図2-35)
「スタック」メニューが表示されます。
3. カーソルボタン▲ / ▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン ▶ を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。



- カーソルボタン▲/▼で「固定 (COMPUTER IN)」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。
- リモコンの**入力切替**ボタンか、またはメイン機の  ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。



お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定すると、**COMPUTER IN** 端子からの映像信号しか選択できなくなります。
- 「サブ入力チャンネル」を「固定 (COMPUTER IN)」に設定すると、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の  ボタンが押された場合、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

メイン機からサブ機へ映像信号を入力する

-ビデオ信号 (コンポーネントビデオ信号またはビデオ信号)

- 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順3へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲/▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。

- カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「COMPUTER-イン」(2-13)ダイアログを表示させてください。



- COMPUTER IN** 端子へコンポーネントビデオ信号を入力する場合は、「オート」に設定してください。その後で、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「終了」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。

COMPUTER IN 端子へビデオ信号を入力する場合は、「VIDEO」に設定してください。ビデオフォーマットを設定する必要がある場合は、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「戻る」を選択し、カーソルボタン◀を押して「入力」メニューを表示させてください。ビデオフォーマットを設定する必要がなければ、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「終了」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。

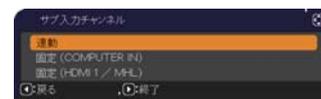
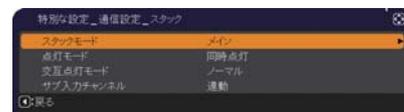
- 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」を選択するため、「ビデオフォーマット」ダイアログを表示させてください。「オート」または入力するビデオ信号に適切なフォーマットを選択してください。



その後、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「終了」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。

メイン機とサブ機へそれぞれ信号を入力する

1. 「スタック」メニューが既に表示されている場合は手順 3 へ進んでください。表示されていない場合はリモコンの**メニュー**ボタンを押してください。「メニュー」ダイアログが表示されたら、カーソルボタン▲/▼で「メイン」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。メニューが表示されます。「メニュー」ダイアログが表示されない場合、「スタック」メニューが表示されます。
2. カーソルボタン▲/▼/◀/▶で以下のメニューに進んでください。
「詳細メニュー」-「その他」メニューの「特別な設定」-「通信設定」-「スタック」(📖2-35)
「スタック」メニューが表示されます。
3. カーソルボタン▲/▼で「サブ入力チャンネル」を選択し、カーソルボタン▶を押して「サブ入力チャンネル」ダイアログを表示させてください。
4. カーソルボタン▲/▼で「連動」を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了してください。
5. リモコンの**入力切替**ボタンまたはメイン機の**入力切替**ボタンを押すと、「メイン入力チャンネル」ダイアログが表示されます。
カーソルボタン▲/▼で信号を入力する端子を選択し、カーソルボタン▶を押して設定を終了させてください。



お知らせ

- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、メイン機またはサブ機の入力端子はもう片方のプロジェクターと同じ端子に自動的に設定されます。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、LAN 端子は選択できません。
- 「サブ入力チャンネル」で「連動」を選択した場合、リモコンの入力端子を選択するボタン、またはメイン機の**入力切替**ボタンが押されると、入力信号を選択するダイアログが表示されます。

スケジュール機能の制限について

本機は Web コントロールのスケジュール機能をサポートしています。RS-232C ケーブルを接続する連結モードのご使用では、この機能について、いくつかの制限があります。RS-232C ケーブルを接続しない単体モードのご使用では、この機能に関し制限はありません。

連結モード、単体モードのいずれをご使用の場合も、(スタック機能を)ご使用の前に設定したスケジュールに関してご注意ください。(スタック機能を)ご使用中に予期せぬ設定変更などが生じる場合があります。

連結モードに関する制限については下表をご覧ください。単体モードをご使用の場合は、本章を読んでいただく必要はありません。

メイン機の制限

機能	電源状態	メイン機 サブ機	点灯モード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯 / 交互点灯
			オン	オン	オフ	オフ
電源 オン			1	1	1	1
電源 オフ			1	1	1	1
入力ソース			2	2	2	2
マイ イメージ			1	1	3	3
メッセージ			1	1	3	3
ブランク			1	1	4	4
光出力			1	1	1	1

サブ機の制限

機能	電源状態	メイン機 サブ機	点灯モード			
			同時点灯	交互点灯		同時点灯 / 交互点灯
			オン	オン	オフ	オフ
電源 オン			4	4	4	4
電源 オフ			1	1	1	1
入力ソース			2	2	2	2
マイ イメージ			1	3	1	3
メッセージ			1	3	1	3
ブランク			1	4	1	4
光出力			1	1	1	1

- 1: 連結モード動作中でもメニューおよび Web コントロールで登録、実行することができます。
- 2: 連結モードで動作中でもメニューおよび Web コントロールで登録することができます。スケジュール機能によって切り替える端子が選択可能であれば、スケジュールは実行されます。選択不可である場合はスケジュールは実行されません。
- 3: 連結モードで動作中でもメニューおよび Web コントロールで登録はできますが、実行はできません。
- 4: 連結モード動作中は、メニューおよび Web コントロールでの登録も実行もできません。

お知らせ

- スケジュールが実行できなかった場合は、エラーの自動通知が設定されていれば、スケジュール実行エラーが通知されます (☞3-65)。
- スケジュール機能で電源を切る設定がされた場合、プロジェクターを連結モードでご使用中は、メインとサブの両方のプロジェクターの電源を切ります。
- メイン機で電源オンのコマンドが実行されると、「点灯モード」(☞2-60)の設定に従って2台とも、あるいはどちらかみの電源が入ります。
- どちらかのプロジェクターのメニュー画面を表示していると、もう片方のプロジェクターでは、マイ イメージ、およびメッセージのコマンドは実行されません。
- 表中の「電源オフ」は、連結モードの設定に従って、リモコンの  ボタンまたはメイン機の **STANDBY/ON** ボタンを押したときに電源が切れスタンバイ状態になることを示します。
- 連結モードではサブ機のスケジュール機能を使って電源オンすることはできません。必要であればメイン機のスケジュールに電源オンのイベントを登録してください。
- 「交互点灯モード」設定でサブ機の電源がオフのとき、サブ機のスケジュール機能で、サブ機の電源を切る命令はエラーは発生することなく実行されます。サブ機の電源のみをオフします。

故障かなと思ったら

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口 (☎4-58) にご相談ください。

故障と間違えやすい現象

現象	確認内容	参照頁
連結モードが正しく動作しない	メイン機およびサブ機の電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機の両方に電源を供給する必要があります。どちらか片方にしか電源が供給されていない場合、連結モードは動作しません。	☎1-25
	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 連結モードでご使用になる場合、メイン機およびサブ機を RS-232C クロスケーブルで接続する必要があります。RS-232C ケーブルが接続されていない場合、メイン機はサブ機を制御できません。	☎2-54
	連結モードのメニュー設定は正しくされていますか？ メイン機とサブ機の「スタック」メニューの設定を確認してください。 連結モードでご使用になる場合、片方のプロジェクターをメイン機に設定し、もう片方をサブ機に設定する必要があります。	☎2-59
	信号ケーブルが正しく接続されていますか？ ケーブルの接続、およびメニューの端子設定が正しくされているかを確認してください。	☎2-64 ~ 69
メイン機とサブ機が同時に動作しない	メイン機およびサブ機に RS-232C ケーブルは正しく接続されていますか？ RS-232C ケーブルを正しく接続し、メイン機の電源を再度入れてください。	☎2-54
「スタック」メニューが選択できない	メイン機およびサブ機に連結モードの設定はされていますか？ メイン機およびサブ機において、以下の設定を確認してください。 - 「設置」メニューの「スタンバイモード」(☎2-17) を「通常」に設定する。 - 「その他」メニューの「特別な設定」- 「通信設定」- 「通信タイプ」(☎2-34) を「オフ」に設定する。 - 「セキュリティ」メニューの「スタックロック」(☎2-44) を「オフ」に設定する。	☎2-51
リモコンを使ってプロジェクターを操作できない	サブ機に向けてリモコン操作をしていませんか？ 連結モードでは、メイン機のみリモコン信号受信が可能です。リモコンを使用する場合はメイン機に向けて使用してください。	☎2-51
2台のプロジェクターの画像のフォーカス(焦点)が合わない、またはうまく重ならない	2台のプロジェクターの画像が正しく重なっていません。 ZOOM リング、レンズシフトダイヤル(垂直)、レンズシフトダイヤル(水平)、または FOCUS リングを調節してください。 必要であれば「コーナーフィット」および「キーストン」を調節してください。	☎1-34, 35 ☎1-37, 38
微調節をしても2台のプロジェクターからの画像が重ならない	2台の画像の調節で異なっている点はありませんか？ 問題解決のために以下の方法を試してみてください。 - リモコンの オート ボタンを押すか、それぞれのプロジェクターで「オートアジャスト実行」を行い、画面の自動調整をしてください。 - それぞれのプロジェクターの「垂直位置」および「水平位置」を調節してください。 - 「入力」メニューの「解像度」を確認し、メイン機とサブ機で異なっている場合は同じ設定にしてください。	☎2-11 ☎2-11 ☎2-14

